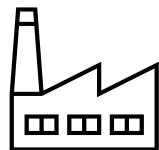


西予市 行政経営戦略会議

財政危機脱却プラン 進捗管理一覧表

令和8年3月

西予市



持続可能な行政運営に向けた 公共施設マネジメント

対象数

50 項目

完了

25 項目

実施中

17 項目

調整中ほか

8 項目

整理番号:1

プラン	NO1 公共施設マネジメントの推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・予算査定の場合に公共施設担当が同席する体制を構築した。 ・全公共施設の更新・老朽化状況の精査を完了した。 ・施設一元管理とデータに基づく維持管理判断を行う管理システム導入の検討を開始した。
企画書	公共施設マネジメントの推進	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	財政課					
課題	公共施設の管理体制が形骸化し、総合管理計画の進行管理が停滞していることから、組織横断的なマネジメント体制の再構築と実効性のある再編・集約が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・予算査定に公共施設担当が同席し、総合管理計画の進行管理及び助言を徹底する。 ・検証結果は、マネジメント会議(部長級)に報告し、意見を聴取する。 ・マネジメント会議の意見は、幹事会(課長級)に共有し、各所管課へ改善点を指示する。 ・集中改革期間後の除却計画に掲載する施設数を110%に引き上げる。 ・地域づくり活動センターに他施設の機能や事業を集約し、拠点施設として活用する。 ・民間企業のノウハウ・技術を公共施設管理に活用する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・部長級・課長級の各階層における会議体系を整備し、意思決定の迅速化を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な予算査定への関与により、計画の形骸化を防止する。 ・令和9年12月の「個別施設計画」改定に向け、除却・統合のスケジュールを確定させる。 ・3月にマネジメント会議で経過を報告する。 	
				取組効果	—	

整理番号:2

プラン	NO2 公共施設の再編(社会福祉施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体に対し計4回の住民説明会を実施した。 ・災害リスクの共有と集約の必要性について共通認識を形成した。 ・移動手段や跡地管理、事務局の代替設置など、住民から寄せられた具体的な要望事項を聴取・整理し、円滑な統合に向けた課題の洗い出しを完了した。 ・関係各講座の責任者(7団体)へ廃止・集約の説明を実施した。
企画書	隣保館	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	人権啓発課					
課題	小森会館は建物自体の老朽化に加え、土砂災害特別警戒区域に位置しており、大規模災害時における利用者の安全確保が困難な状況にある。市民の命を守る観点から、安全な場所への機能移転と施設の最適化が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小森会館及び各分館を8年度末で廃止し、宇和ふれあいセンターへ集約する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・利便性を維持しつつ安全性を高める調整を進めている。 ・廃止に向けて愛媛県と協議中。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度に関係各講座の日程・開催場所の調整を実施する。 ・聴取した要望事項の具体的な対応策(交通手段や事務局設置等)を検討し回答する。 	
				取組効果	8年度末に施設廃止予定のため取組効果なし	

整理番号:3

プラン	NO2 公共施設の再編(社会福祉施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の区長会、地元組織、老人会等と協議を実施した。 ・狩江地区については狩浜老人会からの貸付希望を確認した。 ・高山地区及び宮野浦区については現時点で貸付希望がないことを確認した。
企画書	老人憩の家(明浜)	進捗評価	完了(予定)			
担当課	長寿介護課					
課題	明浜町内3施設の老朽化が著しく、将来にわたる大規模改修や日々の維持管理費が財政運営上の負担となっている。利用実態に合わせた施設の適正化と、行政負担を伴わない利活用形態への移行が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・明浜3施設を7年度末で廃止する。 ・貸付を検討する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・各地区との合意形成を進めつつ、活用希望の有無に応じた対応の精査を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・3施設は7年度末に廃止し、公共インフラ(電気・水道・ガス等)の契約を停止する。 ・無償貸与希望団体が出た場合は、8年度以降の貸付に係る事務手続きを実施する。(狩江地区の1施設を最終調整中) 	
				取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 326千円 削減	

整理番号:4

プラン	NO2 公共施設の再編(社会福祉施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月議会において、施設廃止に係る条例改正の手続きを完了した。 利用団体との協議を重ね、7年度末の廃止および取組の方向性について了承を得た。
企画書	宇和福祉センター	進捗評価	完了(予定)			
担当課	長寿介護課					
課題	本施設は耐震基準を満たしておらず、老朽化も著しいことから、大規模災害時における利用者の安全確保が困難な状態にあり、施設の廃止および適正な運用体制の再構築が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度末で廃止する。 敷地内の陶芸窯は、8年度以降も一部団体が利用予定。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸窯の継続利用団体等に対し、8年度以降の貸付に係る契約事務手続きを実施する。 受益者負担の適正化に向け、光熱水費等の負担区分について詳細な協議・確定を行う。 	
					取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 531千円 削減

整理番号:5

プラン	NO3 公共施設の再編(診療所)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 診療所所長(医師)へ、市の財政状況及び将来的な診療所の在り方に係る検討の方向性について情報共有した。
企画書	周木・二及診療所	進捗評価	調整中			
担当課	市民課					
課題	二及診療所は旧耐震基準の建物であり老朽化が著しい。施設修繕や医療機器更新費用の増大に加え、人口減少等に伴う経営状況の悪化が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 集中改革期間中に将来的な診療所の在り方について検討する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり活動センターからの広報文書等を活用し、各診療所の状況の周知と、診療所の利用促進を促す。 	
					取組効果	—

整理番号:6

プラン	NO4 公共施設の再編(保健衛生施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 各課が所管する公衆トイレの所在地、設置状況、管理実態を網羅した一覧表を作成した。
企画書	公衆トイレ	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	環境衛生課					
課題	市内11箇所に設置している公衆トイレについて、老朽化に伴う施設維持管理費の増大が財政運営上の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用調査のうえ必要に応じて8年度末で廃止する。 地元要望がある場合は、貸付を検討する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 8年度早期に各課との協議を行い、利用調査の結果に基づき個別の方向性を決定する。 決定した方向性に基づき、地元団体等への説明および合意形成を実施する。 	
					取組効果	8年度末に施設廃止予定のため取組効果なし

整理番号:7

プラン	NO4 公共施設の再編(保健衛生施設)			進捗状況	取組状況	・二見滝上公衆トイレ及びどろんこ広場公衆トイレの7年度末廃止を決定した。		
企画書	商工観光トイレ	進捗評価	順調(実施中)					
担当課	経済振興課							
課題	景勝地や集客地に設置している公衆トイレについて、利用頻度に対する施設維持管理費の増大が財政運営上の課題となっている。							
計画	・利用調査のうえ必要に応じて8年度末で廃止する。 ・地元要望がある場合は、貸付を検討する。			進捗内容	今後の予定	取組効果		
						・計画通りの方向性で実施中。 ・廃止または管理移管に向けた庁内調整を進めている。	・8年度早期に関係者への最終説明を実施する。 ・その他の施設についても順次、利用調査に基づく廃止手続きや地元への貸付を進める。	7年度末で2施設廃止により維持管理費 49千円 削減(8年度も引き続き実施)

整理番号:8

プラン	NO4 公共施設の再編(保健衛生施設)			進捗状況	取組状況	・対象となる漁港トイレの現状及び修繕履歴、維持管理コストの整理を完了した。 ・再編に向けた基礎資料を作成した。		
企画書	漁港トイレ	進捗評価	順調(実施中)					
担当課	農業水産課							
課題	明浜町狩浜地区の本施設について、利用者が限定的である一方、老朽化に伴う大規模修繕費用の発生が確実視されており、将来的な公費負担の増大が課題となっている。							
計画	・利用調査のうえ必要に応じて8年度末で廃止する。 ・地元要望がある場合は、貸付を検討する。			進捗内容	今後の予定	取組効果		
						・計画通りの方向性で実施中。 ・8年度末の廃止に向けて調整を進めている。	・8年度早期に関係部局と協議を行う。 ・利用実態に基づき存廃の方向性を決定する。 ・決定後、地元団体等に対し、廃止または貸付に係る協議を開始する。	8年度末に施設廃止予定のため取組効果なし

整理番号:9

プラン	NO4 公共施設の再編(保健衛生施設)			進捗状況	取組状況	・令和7年3月に西予市斎場の在り方検討委員会を開催し、施設再編の方向性について協議を実施した。 ・利用実績や将来推計に基づき、計画の妥当性について確認した。		
企画書	火葬場	進捗評価	順調(実施中)					
担当課	環境衛生課							
課題	現在3施設6炉体制であるが、人口減少に伴い将来的に過剰な施設数となる見通しである。施設の老朽化や火葬炉の劣化による修繕費の増大も懸念されており、施設配置の適正化が課題となっている。							
計画	・三瓶清流苑を9年度末に休止し、宇和光浄苑への利用に集約する。			進捗内容	今後の予定	取組効果		
						・計画通りの方向性で実施中。 ・検討委員会の協議結果に基づき、具体的な休止プロセスの調整を進めている。	・8年度の区長会および関係事業者への早期説明を実施。 ・8年度中に宇和光浄苑への利用集約について住民周知を行い、9年度末休止を完遂する。	9年度末に施設休止予定のため取組効果なし

整理番号:10

プラン	NO4 公共施設の再編(保健衛生施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月議会において、4施設全ての廃止に係る条例改正手続きを完了した。 利用団体等と廃止後の方向性について協議を実施し、合意を得た。
企画書	保健センター等	進捗評価	完了(予定)			
担当課	健康づくり推進課					
課題	各町の保健センター等について、施設の老朽化に伴う修繕費用の増大に加え、利用者の減少が著しい施設の維持管理費負担が財政上の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 明浜健康管理センターを7年度末で廃止し、事業は機能移転する。貸付を検討する。 野村保健福祉センターを7年度末で廃止し、事業は機能移転する。譲渡を検討する。 城川健康管理センターを7年度末で廃止する。 三瓶保健福祉総合センターを7年度末で廃止する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 協議結果に基づき、野村保健福祉センターは利用団体へ無償貸付するほか、明浜健康管理センター内の利用団体は別施設へ移転することが決定した。 施設の廃止および機能移転について、個別連絡や張り紙等により市民へ周知を行う。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 7年度中に利用団体との無償貸付に係る契約事務手続きを完了させる。 7年度末の廃止に伴う看板撤去や備品整理等の実務的手続きを順次進める。 	
				取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 1,973千円 削減	

整理番号:11

プラン	NO5 公共施設の再編(農林水産施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月議会において、施設廃止に係る条例改正の手続きを完了した。 利用団体と協議を行い、8年度からの無償貸付について合意を得た。
企画書	城川ふるさと創作館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	農業水産課					
課題	地域活性化を目的として設置されたが、現在は特定の団体による利用に限定されており、施設維持費の増大が財政上の負担となっていることが課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度末で廃止する。 譲渡・貸付を検討する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 7年度末廃止に向けて調整を進めている。 	
				今後の予定	7年度中に利用団体との無償貸付に係る契約事務手続きを完了させる。	
				取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 1,204千円 削減	

整理番号:12

プラン	NO5 公共施設の再編(農林水産施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 地元地区及び俵津地域づくり活動センターと協議を行った。 地元地区への無償貸付を行う方針を決定した。 12月10日に最終の地元説明会を実施し、施設廃止及び条例改正について合意を得た。
企画書	俵津集落総合施設	進捗評価	完了(予定)			
担当課	農業水産課					
課題	利用者が限定的となっている中、物価高騰等の影響により施設維持管理費が増加しており、財政運営上の負担となっていることが課題となっている。					
計画	7年度末で廃止し、俵津地域づくり活動センターへ機能移転する。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 施設廃止後の地元地区への無償貸付及び機能移転の最終調整を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年3月議会において、施設廃止に係る条例改正の手続きを実施する。 7年度末をもって市の直接管理を終了し、地元地区による自主管理体制への移行を行う。 	
				取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 32千円 削減	

整理番号:13

プラン	NO5 公共施設の再編(農林水産施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元区長、地域づくり会等との協議の結果、8年度以降の活用希望がない旨確認した。 ・令和7年12月議会において、施設廃止に係る条例改正の手続きを完了した。
企画書	みどりの交流館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	林業課					
課題	森林の総合的活用と地域活性化を目的とした施設であるが、現在は利用者が限定的であり、施設の設置目的を十分に果たせていないことが課題となっている。					
計画	・7年度末で廃止し、高川地域づくり活動センターへ機能移転する。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で完了。 ・機能移転及び建物廃止に向けた合意形成を完了した。 	
				今後の予定	・施設の有効活用を図るため、社会福祉協議会等と無償貸付に向けた協議を行う。	
				取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 441千円 削減	

整理番号:14

プラン	NO5 公共施設の再編(農林水産施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・林業活性化センターの機能を野村支所内へ移転した。(旧センターの拠点としての役割を終了)
企画書	野村林業総合センター	進捗評価	完了(予定)			
担当課	林業課					
課題	森林組合の移転に伴い、センターを維持するために必要となる市側の費用負担をいかに軽減していくかが課題となっている。					
計画	・7年度中に林業活性化センターを野村支所へ機能移転する。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・機能移転を完了し、現在は施設本体の処分に向けた調整段階にある。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の導入等による有効活用を視野に、譲渡や貸付を含めた幅広い検討を行う。 ・国・県に対し、補助金等の残存価値に応じた返還手続きに係る協議を進める。 	
				取組効果	7年度中に施設移転により維持管理費 553千円 削減	

整理番号:15

プラン	NO6 公共施設の再編(観光施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元関係者や定期利用団体と協議を実施した。 ・定期利用団体にて施設廃止後の無償貸付による自主管理の検討が進められている。
企画書	三滝ロッジ・ふるさと交流館	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	経済振興課					
課題	施設維持管理費が毎年増加傾向にある一方、利用者が低迷し特定の層に限定されていることから、費用対効果の悪化が財政上の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度末で施設を廃止する。 ・譲渡・貸付を検討する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・8年度末の廃止に向けた段階的な合意形成を図っている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年12月議会にて、施設廃止の条例改正手続きを実施する。 ・定期利用団体と無償貸付に向けた詳細な条件整理・契約協議を継続する。 	
				取組効果	先行して地元関係者等と協議を行ったことにより維持管理費 75千円 削減	

整理番号:16

プラン	NO6 公共施設の再編(観光施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体の状況調査を実施した。 維持管理に係る将来経費、事業休止による近隣施設への影響を精査し、検討を行った。 結果として、関係機関から事業休止についての子承を得た。
企画書	ロッククライミング場	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	5年度の一般公開後、利用者の低迷が続いており、利用実績に見合わない施設維持管理費の発生が財政運営上の負担となっていることが課題となっている。					
計画	・7年度末で休止し、他市町の動向を踏まえ廃止を判断する。			今後の予定	・休止期間中、他自治体の動向を注視し、最終的な事業継続または廃止の判断を行う。	
					取組効果	7年度末で施設休止により維持管理費 307千円 削減

整理番号:17

プラン	NO7 公共施設の再編(公園)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 各所管課において地元住民や関係団体との協議を順次実施した。 一部公園について、令和7年12月議会で施設廃止に係る条例改正手続きを完了した。 令和8年2月に各課と8年度の計画について再協議を実施した。
企画書	公園	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	建設課					
課題	市内一部の公園において、利用実績の低迷や類似施設との重複が見られる一方、老朽化した遊具の維持管理や安全確保に要するコスト増が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 8年度から順次廃止する。(91箇所⇒38箇所) 地元要望がある場合は、貸付・売却を検討する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 地元協議が整った公園から8年度中に廃止し、危険遊具等の撤去を並行して進める。 残る施設についても、実態に応じた条例改正手続きを行う。 	
					取組効果	先行した公園施設の順次廃止等により維持管理費 8,071千円 削減

整理番号:18

プラン	NO7 公共施設の再編(公園)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 地元役員および関係団体との協議の結果、施設の廃止及び集約について合意を得た。 令和7年12月議会において、バンガロー廃止に係る条例改正の手続きを完了した。
企画書	竜沢寺緑地公園	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	バンガロー宿泊施設を運営している本施設について、利用者の低迷に加え、老朽化に伴う維持管理費の増大が財政運営上の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度末でバンガローを廃止する。 トイレの集約を行う。(5箇所⇒2箇所) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等を通じてバンガロー等の廃止を周知する。 管理棟およびその他の施設について、地元団体等への貸付等の協議を継続する。 	
					取組効果	整理番号17に含む

整理番号:19

プラン	NO7 公共施設の再編(公園)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元総務区及び関係者と将来的な維持管理体制の見直しについて協議を行った。 ・その結果、計画について了承を得た。
企画書	三滝公園	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	市内有数の景勝地に位置する施設であるが、利用者の減少に伴い、遊歩道や公衆トイレ等の維持管理コストが見合わなくなっていることが課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度から管理委託を職員管理に移行する。 ・トイレの集約を行う。(2箇所⇒1箇所) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度からの新管理体制(委託と直営の混合)への移行準備を進める。 ・トイレの集約および遊歩道の安全点検を順次実施し、持続可能な環境管理を行う。 	
					取組効果	整理番号17に含む

整理番号:20

プラン	NO8 公共施設の再編(文化・社会教育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の大規模修繕を見送る方針を決定した。 ・広域学習ホールの開催時期調整について、令和7年11月に運営委員会へ説明した。 ・12月には三瓶小・中学校長へ説明・意見聴取を実施した。
企画書	三瓶文化会館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まちづくり推進課					
課題	広域学習ホールの利用者が減少している中、施設修繕費の増加が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の大規模修繕は見送る。 ・事業等の開催時期を調整した運営を行う。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・改修を含めた施設のあり方について引き続き検討を行う。 ・利用者および地域住民に対し、今後の運営方針について周知を徹底する。 	
					取組効果	8年度から運営方法の見直しにより維持管理費 156千円 削減(大規模修繕は見送り)

整理番号:21

プラン	NO8 公共施設の再編(文化・社会教育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会11月定例会にて条例統合の意見聴取を行った。 ・令和7年10月に史談会、11月～12月に関係者へ説明し、計画の合意形成を図った。 ・同年12月議会において、施設廃止に係る条例改正の手続きを完了した。
企画書	文書館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まなび推進課					
課題	城川文書館や城川歴史民俗資料館は、目的及び性格が類似しているものの、条例上も施設も複数に分かれており、対外的にも組織運営上も理解しにくい状況となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度末で廃止し、城川歴史民俗資料館に集約する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度中に文書館が保有する史料を城川支所及び城川歴史民俗資料館へ移転・集約作業を完了する。 	
					取組効果	7年度末で施設廃止・集約により維持管理費 477千円 削減

整理番号:22

プラン	NO8 公共施設の再編(文化・社会教育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年11月に石城地域づくり活動センター関係者へ説明を実施した。 ・同年12月には笠置文化保存会及び市文化財保護審議会に対し、計画凍結の背景と今後の方針について説明を行い、専門的見地等からの意見聴取を行った。
企画書	古代ロマンの里ガイダンス施設	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	まなび推進課					
課題	宇和町石城地区の古墳などの出土資料を展示公開するとともに、文化財を活かした地域づくり活動の拠点、地域住民の来訪者との交流拠点としての機能を有するガイダンス施設の整備を計画しているが、集客の見通しや財源の確保が課題となっている。					
計画	・施設整備の計画を凍結する。			今後の予定	—	
					取組効果	—

整理番号:23

プラン	NO8 公共施設の再編(文化・社会教育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・条例改正案について教育委員会11月定例会にて意見聴取を行った。 ・令和7年12月議会において、条例改正の手続きを完了した。 ・令和7年12月に市文化財保護審議会で説明を行い、意見を聴取した。 ・教育委員会12月定例会において、施行規則改正の手続きを完了した。
企画書	明浜歴史民俗資料館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まなび推進課					
課題	5年10月に展示をリニューアルしたが、開館日数の大幅削減により、入館者数は低迷している。一方、施設の老朽化に伴う修繕により維持管理費は増加している。					
計画	・施設の管理運営を縮小する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・管理運営縮小に伴う新たな運営方法について調整を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での利用、ジオパークでの利用、地元ボランティアによる見学者対応などの意見が得られたため、実効性について検討する。
					取組効果	管理運営の縮小により人件費及び維持管理費 1,161千円 削減

整理番号:24

プラン	NO8 公共施設の再編(文化・社会教育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年8月及び10月に図書館協議会を開催し、分館廃止についての答申を受理。 ・条例改正案について教育委員会11月定例会にて意見聴取を行った。 ・同年12月議会において、条例改正の手続きを完了した。 ・教育委員会12月定例会において、施行規則改正の手続きを完了した。
企画書	図書交流館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まなび推進課					
課題	開館時間の短縮に合わせ、限られた財源と人員を有効活用するため、利用実績に応じた適正な施設数への再編・転換を図ることが課題となっている。					
計画	城川・明浜分館を7年度末で廃止し、中央館・野村分館へ集約する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度末の城川・明浜分館廃止について、ホームページ等で早期の市民周知を行う。 ・7年度内に蔵書の選定作業を行い、中央館等への運搬・集約事務を完了する。 	
					取組効果	7年度末で施設廃止・集約により図書購入費及びシステム保守料等 5,926千円 削減

整理番号:25

プラン	NO9 公共施設の再編(社会体育施設)			進捗状況	取組状況	・グラウンド夜間照明の廃止を先行して実施している。 ・7年度からは体育館の順次廃止に向け、各地区での地元説明を開始した。 ・夜間照明の契約解除や浄化槽の廃止など、実務的な停止作業を並行して進めている。	
企画書	社会体育施設	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容	・計画通りの方向性で実施中。 ・各地区での合意形成および廃止事務を順次進めている。
担当課	まちづくり推進課						今後の予定
課題	施設の老朽化に伴う修繕費の増大に加え、競技人口の高齢化や利用人数の減少が続いており、将来にわたって膨大な維持管理費用を負担し続けることが課題となっている。				取組効果	夜間照明7施設の廃止等により維持管理費 3,228千円 削減(引き続き実施)	
計画	・体育館は7年度から順次廃止し、9年度末で完了する。(20施設⇒8施設) ・グラウンド夜間照明は7年度から順次廃止し、9年度末で完了する。(各町1施設維持)						

整理番号:26

プラン	NO9 公共施設の再編(社会体育施設)			進捗状況	取組状況	・野村プールの休止に向け、野村支所及び関係部署との具体的な協議・調整を実施した。	
企画書	宇和・野村プール	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容	・計画通りの方向性で実施中。 ・各プールの段階的な休止に向けた学内・地域内の調整を進めている。
担当課	まちづくり推進課						今後の予定
課題	施設の老朽化や物価高騰に伴う運営経費の増大に加え、監視員の確保困難や利用率の低迷が続いており、公営プールの運営維持が課題となっている。				取組効果	8年度中に野村プール休止により人件費及び維持管理費 2,177千円 削減	
計画	・野村プールは8年度から休止する。 ・宇和プールは9年度から休止する。						

整理番号:27

プラン	NO9 公共施設の再編(社会体育施設)			進捗状況	取組状況	・移転先候補について内部協議し、三瓶中学校武道場への機能集約を検討している。 ・利用団体に対し、老朽化の現状と機能移転の必要性について説明を行い、了承を得た。	
企画書	三瓶武道館	進捗評価	調整中			進捗内容	・計画の方向性について調整中。 ・使用団体から要望書の提出があり、使用状況や周辺代替施設を調査した結果、当面の間は三瓶武道館を存続する方向で調整する。
担当課	まちづくり推進課						今後の予定
課題	建築から50年以上が経過し耐震性に乏しく老朽化が著しいことに加え、近年の利用人数低迷により、安全確保と維持管理のあり方が課題となっている。				取組効果	調整中のため取組効果なし	
計画	7年度中に協議し、8年度以降に近隣体育館等へ機能移転する。						

整理番号:28

プラン	NO9 公共施設の再編(社会体育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元関係者との協議を実施し、7年度末での施設廃止について了承を得た。 ・先行して、7年度中にグラウンド照明の廃止(契約解除等)の手続きを完了した。
企画書	三瓶南グラウンド	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	まちづくり推進課					
課題	近年は夜間照明の利用がなく、利用者も限定的となっていることに加え、年々増大する維持管理費が財政上の負担となっていることが課題となっている。					
計画	・7年度末で廃止する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地元団体等への無償貸付を想定した貸付契約の締結等の事務手続きを進める。 ・令和8年12月議会において、他の体育施設と合わせて条例改正の手続きを行う。 	
					取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 403千円 削減

整理番号:29

プラン	NO9 公共施設の再編(社会体育施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用団体に対し、施設の現状と廃止の必要性について協議を行い、了承を得た。 ・令和7年12月議会において、施設廃止に係る条例改正の手続きを完了した
企画書	市民憩の家	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まちづくり推進課					
課題	市民および広域的な交流の場として整備されたが、現在は利用団体が限定的であり、施設の経年劣化に伴う維持管理費の増大が課題となっている。					
計画	・7年度末で廃止する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の廃止について、ホームページや広報等を通じて市民への早期周知を行う。 ・廃止後の建物解体及び跡地活用について方針を決定する。 	
					取組効果	7年度末で施設廃止により維持管理費 430千円 削減

整理番号:30

プラン	NO10 公共施設の再編(学校給食施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・統合先となるせいよ西学校給食センターの施設規格と既存配送車の適合性を検証した。 ・新規給食配送車の入札を執行、契約が完了した。 ・調理員を対象とした統合に関する説明会を実施した。 ・町内の食材取引業者を対象とした統合に関する説明会を実施した。
企画書	学校給食センター	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	学校教育課					
課題	児童生徒数の減少に伴う運営効率の低下に加え、施設・機械器具の老朽化や環境対応(照明LED化等)に要する改修費用の負担増が課題となっている。					
計画	・8年度末で三瓶学校給食センターを廃止し、せいよ西学校給食センターへ集約する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度中に新規給食配送車の確保を行う。(入札済) ・廃止及び統合に向けた細部スケジュールの策定と、関係者への継続的な周知を行う。 ・改修が必要な設備や購入が必要な物品購入、食材取引業者との調整を進める。 	
					取組効果	8年度末で施設廃止・集約のため改革効果なし

整理番号:31

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・民間譲渡を視野に現在の指定管理者との具体的な協議を開始した。 ・施設の修繕箇所について、建設課技師による緊急性判断調査を実施した。 ・改修の優先順位とリスクの精査を行った。 ・令和7年12月議会において、指定管理者の指定手続きを完了した。 	
企画書	みかめ本館	進捗評価	調整中			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性について調整中。 ・運営実態に即した調整を進めている。
担当課	経済振興課					今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、円滑な譲渡に向けた条件整理等の協議を継続する。 ・調査結果に基づき、緊急性の高い修繕に限定して実施の判断を行う。
課題	コロナ禍の影響もあり、近年は経営不振が続いている。また、委託料のほか老朽化に伴う修繕費も毎年度発生し、費用負担も課題となっている。				取組効果	方向性を調整中ではあるが、指定管理料委託料の調整により 909千円 削減	
計画	7年度中に方向性を協議し、9年度から譲渡・廃止又は機能転用する。						

整理番号:32

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的な譲渡に向け、現在の指定管理者と譲渡条件等の具体的な協議を開始した。 ・キャンプ場および観光交流拠点施設については、民間企業による買収も視野に入れ、市外・県外の他企業へ向けた情報発信を並行して実施している。 ・令和7年12月議会において、指定管理者の指定手続きを完了した。 	
企画書	あけはまシーサイドサンパーク・明浜柑橘加工施設	進捗評価	調整中			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性について調整中。 ・最適な譲渡先と条件の決定に向けた調整を進めている。
担当課	経済振興課					今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者との合意形成に向けた協議を継続するとともに、広く他企業へのプロモーションを行い、より持続可能な経営主体への移管を目指す
課題	あけはまシーサイドサンパーク内の3施設について、キャンプ場単体での経営が厳しさを増していることに加え、施設全体の老朽化に伴う修繕費用の増加が課題となっている。				取組効果	方向性を調整中ではあるが、指定管理料委託料の調整により 2,600千円 削減	
計画	7年度中に一体的な譲渡協議を行い、8年度から順次譲渡する。						

整理番号:33

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者及び四国経済産業局と円滑な民間譲渡に向けた具体的な協議を開始した。 ・譲渡条件等の整理を進めている。 ・令和7年12月議会において、指定管理者の指定手続きを完了した。 	
企画書	みかめ海の駅	進捗評価	調整中			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性について調整中。 ・国等の関係機関と調整を図りながら、法的な手続きや条件の精査を進めている。
担当課	経済振興課					今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な経営形態への移行を目指し、関係各所との協議を継続する。
課題	整備から約18年が経過し、今後、大規模改修や経年劣化に伴う施設設備の修繕増加が見込まれることから、将来的な維持管理に係る費用負担が課題となっている。				取組効果	調整中のため取組効果なし	
計画	7年度中に方向性を協議し、調整を経たうえで、9年度から譲渡する。						

整理番号:34

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月議会で市営駐車場としての廃止に係る条例改正の手続きを完了した。 第4駐車場を中心に地元組織等への無償貸付に向けた具体的な協議を開始した。
企画書	市営駐車場	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	宇和町商店街内の一部市営駐車場について、指定管理期間の満了を控え、適正な施設管理と行政負担軽減の観点から、民間運営への移行が課題となっている。					
計画	・8年度から無償貸付又は廃止する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐車場としての廃止について、看板や広報等を通じて早期の市民周知を行う。 無償貸付先との協議を継続し、運営主体決定後は速やかに契約手続きを進める。 	
				取組効果	7年度末で廃止のため用地借上料 707千円 削減	

整理番号:35

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年7月および8月に各地区の運営委員会を開催し、現状を共有した。 農業協同組合に対し、無償譲渡または貸付について協議を実施した。 令和7年12月議会において、指定管理者の指定手続きを完了した。(譲渡までの運営を確保)
企画書	畜産施設	進捗評価	調整中			
担当課	農業水産課					
課題	野村畜産センター、野村エコセンター、城川堆肥センターについて、施設の老朽化による修繕費の増大、畜産農家の減少に伴う運営機能の低下、および売上の減少が課題となっている。					
計画	・7～8年度に一体的な譲渡協議を行い、9年度から譲渡又は無償貸付する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き農業協同組合等の関係団体と譲渡・貸付の協議を継続する。 協議が整わない場合に備え、施設の廃止(閉鎖)についても並行して検討を開始する。 	
				取組効果	調整中のため取組効果なし(指定管理期間:7年度～9年度)	

整理番号:36

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 管理形態移行に向けて、指定管理者と無償貸付に向けた具体的な協議を開始した。
企画書	城川農産物振興施設	進捗評価	調整中			
担当課	農業水産課					
課題	施設の老朽化に伴い毎年修繕費が発生していることに加え、行政の枠内では経営の自由度が制限され、特産品販売等の利益追求や事業拡大が困難な状況にあることが課題となっている。					
計画	・7年度から譲渡協議を開始し、9年度から譲渡又は無償貸付する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 現在の指定管理者と無償貸付に向けた詳細な協議を継続し、合意形成を図る。 コンビニ化についての方向性を検討する。 	
				取組効果	調整中のため取組効果なし(指定管理期間:6年度～8年度)	

整理番号:37

プラン	NO11 公共施設の再編(指定管理施設)			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 現在の指定管理者と譲渡に向けた協議を実施した。 補助金等に係る財産処分の手続きについて、県へ確認・調整を行っている。
企画書	木質パレット製造施設	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	林業課					
課題	林地残材や製材端材等の未利用資源を活用することで林産物の付加価値を高め、地域産業の活性化を図る施設であったが、費用対効果が低いことが課題となっている。					
計画	・7年度から譲渡協議を開始し、11年度末で譲渡又は廃止する。			今後の予定	・県の確認結果に基づき、財産処分等に必要な事務手続きを計画的に進める。	
				取組効果	譲渡に向けて調整中であるが、指定管理委託料の調整により 275千円 削減	

整理番号:38

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> センター利用実態の調査に基づき、受付時間を8:30~16:30とする方針を決定した。 令和7年12月に、受付時間を規定する施行規則の改正を完了した。 ホームページへの掲載により、先行して市民への周知を開始した。
企画書	地域づくり活動センター	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まちづくり推進課					
課題	地域づくり活動センターでは行政業務の機能拡充による業務量の増加により、勤務時間前後に業務(時間外勤務)が頻発していることが課題となっている。					
計画	・8年度から受付時間を45分短縮し、8:30~16:30とする。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> センターだよりへの掲載を継続して実施する。 センター入口への掲示を行い、地域住民への周知を徹底する。 	
				取組効果	8年度からの受付時間の見直しにより人件費 980千円 削減	

整理番号:39

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 児童館運営委員会にて意見聴取を実施した。 子どもたちの居場所を確保する観点から、図書館の休館日との重複を避け、休館日を木曜日・金曜日とする方針を決定した。 開館日数の変更に伴い、現場職員の勤務体制について再編及び調整を実施した。 令和8年度実施に向けた規則改正を完了した。
企画書	児童館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	子育て支援課					
課題	宇和・野村児童館は多くの子どもの拠り所となっているが、来館者数の減少傾向が続く中、サービスの質を保ちつつ経費削減を図る管理運営手法の確立が課題となっている。					
計画	・週6日開館を8年度から週5日開館とする。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等での周知に加え、保育所や学校と保護者が利用している連絡ツールも活用し、周知の徹底を図る。 	
				取組効果	8年度からの開館日の見直しにより人件費及び維持管理費 2,214千円 削減	

整理番号:40

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 来館者分析に基づき、祝日を除く月・火曜日を休館とする方針を決定した。 現場の勤務体制の再編を実施した。 令和7年12月議会において、開館日数変更に伴う条例改正の手続きを完了した。
企画書	ギャラリーしろかわ	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	「全国かまぼこ板の絵展覧会」の開催期間は多くの来館者で賑わう一方、閑散期の入館者数が低迷しており、集客の波に合わせた効率的な管理運営による経費削減が課題となっている。					
計画	・週6日開館を8年度から週5日開館とする。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 制度上の手続きを完了させ、周知および集客力強化策の検討を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等での周知に加え、近隣の文化施設(3館連携)と協力した案内チラシを作成・配布し、エリア全体での回遊性向上と集客を図る。 	
				取組効果	8年度からの開館日の見直しにより人件費及び維持管理費 3,249千円 削減	

整理番号:41

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 来館者分析に基づき、利便性を考慮しつつ月・火曜日を休館とする方針を決定した。(祝日の場合は開館)
企画書	城川歴史民俗資料館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	ギャラリーしろかわおよびジオミュージアムとの3館一体運営を行っているが、近年の観覧者数の低迷により、運営効率の向上と経費削減を図る管理運営方法の検討が課題となっている。					
計画	・週6日開館を8年度から週5日開館とする。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 近隣施設と歩調を合わせた開館体制の再編および調整を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等での周知に加え、近隣の文化施設(3館連携)と協力した案内チラシを作成・配布し、エリア全体での回遊性向上と集客を図る。 	
				取組効果	最低限の維持管理状況であるため、開館日の見直しによる取組効果なし	

整理番号:42

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 来館者分析に基づき、利便性と管理効率を考慮した月・火曜日休館の方針を決定した。(祝日の場合は開館) 現場の勤務体制の再編を実施した。 令和7年12月議会において、開館日数変更に伴う条例改正の手続きを完了した。
企画書	ジオミュージアム	進捗評価	完了(予定)			
担当課	経済振興課					
課題	近隣の文化施設と3館一体で運営を行っているが、観覧者数の低迷が続いており、施設維持管理経費の削減および今後の償還費用への対応が課題となっている。					
計画	・週6日開館を8年度から週5日開館とする。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 近隣施設と歩調を合わせた開館体制の再編および調整を進めている。 ジオ、ギャラリー、城川歴民で開館日変更を記載した3館案内リーフレットを作成中。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等での周知に加え、近隣の文化施設(3館連携)と協力した案内チラシを作成・配布し、エリア全体での回遊性向上と集客を図る。 	
				取組効果	8年度からの開館日の見直しにより人件費及び維持管理費 2,259千円 削減	

整理番号:43

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を精査し、需要の高い「金・土・日曜日」のみを開館日とする方針を決定した。 ・週3日開館への大幅な移行に合わせ、現場の勤務体制の再編を実施した。
企画書	シルク博物館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	農業水産課					
課題	染織講座など特色ある事業を展開しているものの、入館者数の低迷に伴い収入状況が芳しくないため、経費削減を図る抜本的な管理運営方法の検討が課題となっている。					
計画	・週6日開館を8年度から週3日開館とする。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・運営コストの最小化と事業継続の両立に向けた調整を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を通じ、開館日が限定されることについて利用者や関係団体への早期周知を徹底する。 	
				取組効果	8年度からの開館日の見直しにより人件費及び維持管理費 9,061千円 削減	

整理番号:44

プラン	NO12 公共施設の開館日等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年8月及び10月の西予市図書館協議会にて協議を重ねた。 ・月・火曜日を休館(9:45~17:15開館)とする答申を受理した。 ・同年12月の教育委員会定例会において、施行規則改正の手続きを完了した。
企画書	図書交流館	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まなび推進課					
課題	利用者数は増加傾向にあるものの、会場使用料収入に対して施設の維持管理費用が年々増大しており、収支バランスの適正化が課題となっている。					
計画	・週6日開館を8年度から週5日開館とする。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・法的な手続きを完了させ、円滑な新体制移行に向けた準備を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや館内掲示、広報誌等を通じて、利用者への早期周知を徹底する。 	
				取組効果	8年度からの開館日の見直しにより維持管理費 5,694千円 削減	

整理番号:45

プラン	NO13 公共施設のLED化推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ESCO事業の対象施設を選定するため、事前調査を実施した。 ・公募型プロポーザルを実施し、令和7年12月に事業者と契約を締結した。(契約期間:令和21年3月末まで)
企画書	公共施設のLED化推進	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	財政課					
課題	市内各公共施設において照明器具のLED化が急務となっているが、一斉改修には多額の初期投資が必要であり、将来的な費用負担が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度から公共施設LED化の導入手法としてESCO事業等を導入する。(事業者:LED照明の導入費用を負担する。) (市:LED照明の導入による電気料削減相当額を委託料として事業者を支払う。) 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・民間活力を導入した効率的な設備改修に着手している。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・改修完了後の電気料金削減額等の効果検証を継続的に行う。 ・他の公共施設への展開について順次検討を進める。 ・第1期(8年1月~8年3月)、第2期(8年4月~9年3月)で予定している。 	
				取組効果	—	

整理番号:46

プラン	NO14 公共施設の空きスペース活用促進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・予算査定に公共施設担当が同席し、各施設の空きスペースを聴取する体制を構築した。 ・モデル事業として、教育保健センター3階のサテライトオフィス等への貸付を計画した。 ・現在、活用希望団体による現地確認や条件整理を実施している。
企画書	公共施設の空きスペース活用促進	進捗評価	調整中			進捗内容
担当課	財政課				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果に基づき、活用可能施設の特定と活用希望団体との協議・契約を推進する。 ・部長級による公共施設等マネジメント会議へ進捗を報告し、全庁的な方針決定を行う。
課題	人口減少や利用率の低下に伴い、施設内に未利用の空室や敷地が多数発生しており、維持管理コストに見合った効果的な施設利用のあり方が課題となっている。				取組効果	—
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・行政財産の空室や敷地の未利用部分を詳細に調査し、活用可能な施設を特定する。 ・予算査定に公共施設担当が同席し、ヒアリングを通じて施設ごとの方針を企画する。 ・公共施設等マネジメント会議(部長級)に報告し、意見を聴取する。 ・モデル事業として教育保健センター3階をサテライトオフィス等として貸付する。 					

整理番号:47

プラン	NO15 公用車管理の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・kintoneを活用した「公用車管理台帳」の構築を完了した。 ・令和7年10月より、各担当部署において走行距離等の詳細データの入力を開始した。 ・これにより、リアルタイムでの実態把握を可能とした。
企画書	公用車保有量	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容
担当課	財政課				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積された利用状況やコストデータの分析を行う。 ・低稼働車両の削減や効率的な配置転換(所管換え)を実施する。
課題	車両数の適正化や維持コスト(燃料費・修繕料等)の管理を行うにあたり、全庁的な車両利用の実態把握が十分になされていないことが課題となっている。				取組効果	—
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車は、kintoneを活用し、車両1台ごとの利用状況やコスト管理をデータ化する。 ・データ管理の中で効率的な配置転換を進め、全庁的な保有量を適正化する。 					

整理番号:48

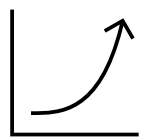
プラン	NO15 公用車管理の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「消防団再編計画」および、それに連動した「車両更新計画」の改定を完了した。 ・車両更新年数の延長(25年→30年)や10年度までの更新凍結、普通積載車から軽積載車への転換について、各分団との協議・調整を実施した。
企画書	消防団施設及び装備	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容
担当課	消防総務課				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度からの団再編・詰所統合に合わせ、引き続き車両配置の適正化を推進する。 ・地域の防災力を維持できる車両構成を消防団と継続的に協議する。
課題	消防団の条約定数と実団員数の乖離があり、現在の組織規模に合わせた施設・装備の再編および、維持管理コストの最適化が課題となっている。				取組効果	—
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度からの団再編・詰所統合に伴い更新規模を縮小する。 ・車両更新年数を25年から30年に見直し、10年度までは更新を凍結する。 ・普通積載車から軽積載車へ転換する。 					

整理番号:49

プラン	NO16 公共施設使用料等の適正化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 内部協議を経て、急激な負担増を避けるための段階的な減免率見直しを決定した。 令和7年12月議会において、各施設に係る条例改正の手続きを完了した。
企画書	施設使用料	進捗評価	完了(予定)			
担当課	財政課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 周知および新制度移行への準備段階に移行している。
課題	公共施設の使用料(貸館)について、本来は受益に応じた負担を基本としているが、長年慣例化してきた広範な減免措置により、施設維持管理経費の過大な公費負担が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設使用料(貸館)について、8年度から減免規定を見直す。 経過措置(R8:50%、R9:50%、R10:0%) 地域づくり活動センターは除く 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始に向けてホームページや施設掲示、広報誌等により早期かつ丁寧に周知する。 	
取組効果					8年度からの減免規定改定により使用料収入 1,981千円 増加	

整理番号:50

プラン	NO16 公共施設使用料等の適正化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 近隣自治体の料金水準や運営コストを精査し、8年度からの改定を決定した。 令和7年12月議会において、火葬場設置及び管理条例の改正手続きを完了した。
企画書	火葬料金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	環境衛生課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 制度改正の手続きが完了し、施行に向けた周知段階に移行している。
課題	物価高騰に伴い、燃料費や電気代、施設管理委託料などの運営経費が増加している一方、火葬料金は据え置かれたままであり、経費負担の適正化が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 8年度から火葬料金を改定する。 (大人(12歳以上) 市内:10,000円⇒20,000円、市外:20,000円⇒40,000円等) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや広報誌等を通じて市民や葬祭業者へ早期の周知を行い、理解を求める。 	
取組効果					8年度からの火葬料金改定により使用料収入 7,595千円 増加	



持続可能な行政運営に向けた 財政改革



整理番号:51

プラン	NO.17 行政連絡委託業務の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年8月、行政連絡協議会代表者を開催した。 「委託料算定単価の見直し」及び「区長要望の運用見直し」について合意を得た。
企画書	行政連絡委託業務の合理化	進捗評価	完了(予定)			
担当課	総務課					
課題	各自治会へ行政文書配布や地区要望の取りまとめを委託しているが、業務量に見合った委託料のあり方、継続要望の蓄積、および区長の業務負担増が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 行政連絡委託料は、業務量を踏まえ、8年度から算定単価を見直す。 8年度から新規要望に新たな要望基準を設ける。(緊急性及び重要性の区分を設け、両方を満たす要望に限り受付する。) 8年度から継続要望は棚卸の整理を行う。 8年度中に各地区への連絡手段の電子化について調査・研究する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で取組が完了。 要望受付手順に、「緊急性・重要性」による明確な優先順位を導入する土台を整備した。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月以降、区長会等を通じて全区長へ詳細を通知し、市民への周知も図る。 新たな要望基準の運用にあたり、市職員側の対応ルールを徹底する。 要望の棚卸しと整理を並行して進める。 	
				取組効果	8年度からの算定単価見直しにより委託料 5,481千円 削減	

整理番号:52

プラン	NO18 情報システム管理運用事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 定員管理計画(令和15年度までに50人削減)との連動により、ライセンス数の精査を実施。8年度は前年度比15ライセンスを削減する。 Microsoft365の導入によるクラウド化の進展に合わせ、専用回線や接続機器が不要となる施設の特定を完了した。
企画書	情報システム管理運用事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	デジタル推進課					
課題	物価高騰やシステム高度化に伴い、情報システムの維持・管理運営経費が増大しており、運用の効率化によるコスト抑制が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 定員管理計画で定める段階的削減目標に基づき、ライセンス数を見直す。(6~15年度までに職員50人程度を削減する。) 情報系端末のみを使用する施設の接続機器を撤去し、8年度から保守料の削減を図る。(Microsoft365構築による環境整備に伴う整理) (対象施設:まなびあん、乙亥会館、ジオミュージアム、なごみかん等の29施設) 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で実施中。 定員管理の目標に合わせたライセンスの適正化及び通信インフラの削減を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 8年度より、情報系端末のみを使用する26施設(まなびあん、乙亥会館等)において不要となる専用回線および接続機器を順次撤去し、保守料の削減を確定させる。 	
				取組効果	8年度からのライセンス数の見直しにより運用保守委託料等 4,779千円 削減	

整理番号:53

プラン	NO19 移住・定住対策事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 移住体験施設「きたかな」の地域移行(譲渡)に向け、地元組織等との協議を開始した。 移住定住交流センターの自立運営(市職員派遣の終了)を目指し、民間主体の新たな運営方針や人員配置の検討を進めている。
企画書	移住事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	まちづくり推進課					
課題	移住者確保に向けて多角的な事業を展開してきたが、個別の事業がもたらす直接的な成果が不透明な部分があり、費用対効果の検証と事業の選別が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 移住体験施設「きたかな」を9年度末で廃止し、譲渡による地域移行を検討する。 移住フェアの参加について、移住定住交流センターを軸とした体制に移行する。 移住定住交流センターへの職員派遣を終了し、自立運営を目指す。 移住定住空き家活用住宅改修事業について、7年度末で新規事業を休止する。 移住交流促進事業について、国の交付金の制度を踏まえ10年度から休止する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で実施中。 移住定住交流センターの持続可能な運営体制の確立及び戦略的な情報発信・広報戦略の検討を進めている。(有料職業紹介事業、地域活性化起業人の活用) 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 移住体験施設の地域移行に向けた地元協議を継続し、9年度末の廃止・譲渡を目指す。 支援制度の休止や運営体制の変更について、ホームページ等を通じて利用希望者や関係各所へ早期の周知を行う。 	
				取組効果	8年度からの移住事業の再編により事業費 8,400千円 削減	

整理番号:54

プラン	NO19 移住・定住対策事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・応募可能地域・ミッションを明確化した。 ・年間を通じて、平均隊員数が約20名となるよう採用調整を行った。 ・適正規模の維持に向けた運用を実施している。(7年度は9名の募集に対し、1月時点で7名を採用) 	
企画書	地域おこし協力隊	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組を実施中。 ・ミッションの厳選と人員の平準化を進めている。
担当課	まちづくり推進課						今後の予定
課題	地域おこし協力隊は移住促進や地域資源の活用において一定の効果を上げているが、隊員ごとの活動実態に即した管理マネジメントや、受け入れ態勢の最適化が課題となっている。					取組効果	
計画	・応募地域・ミッションを明確化し、年間活動者を20名程度に調整する。						

整理番号:55

プラン	NO20 人口減少対策事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージ別の効果検証に基づき、優先事業の選定を完了した。 ・廃止検討事業について、要綱の整理および市民への周知に向けた準備に着手した。(出産世帯奨学金返還支援、多子世帯リフォーム支援等) 	
企画書	人口減少対策事業	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・重点事業の質的強化を図っている。(出会いサポート事業でこれまでのイベントに加え、事務局が企画する戦略的イベントを導入する。結婚推進委員会で相談業務に係る予約制を導入する。)
担当課	政策推進課						今後の予定
課題	人口減少対策として多岐にわたる事業を展開してきたが、個別の事業がもたらす直接的な成果や相乗効果が不透明であり、限られた財源の有効活用が課題となっている。					取組効果	
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージ別に効果や成果を見据えた事業を選定し、8年度から再編整理を行う。(対7年度予算の一般財源額を30%程度削減する。) ・廃止を検討する事業(出産子育て通院交通費助成、出産世帯奨学金返還支援、多子世帯リフォーム等支援など) ・重点的に取り組む事業(出会いサポート補助、結婚推進委員会補助、紙おむつ定額利用支援など) 						

整理番号:56

プラン	NO21 社会福祉事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料積算の適正化に向け、受託事業者と協議を実施した。 ・協議の結果、委託料のうち、家賃月額上限を10万円に設定した。 	
企画書	地域生活支援センター委託料	進捗評価	完了(予定)			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・法人から、内部調整によるさらなる委託料減額の申し出があり、調整を進めている。
担当課	福祉課						今後の予定
課題	障害者の自立支援事業を外部委託により実施しているが、将来にわたる持続可能な運用体制の確保と、コストに見合った活動内容のさらなる発展が課題となっている。					取組効果	
計画	8年度から委託料の積算を見直す。						

整理番号:57

プラン	NO21 社会福祉事業の見直し			進捗状況	取組状況	・過去の利用実績および登録者状況の精査を実施したところ、登録者数が減少した。
企画書	ファミリーサポートセンター事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	子育て支援課					
課題	子育て支援の相互扶助を目的とした事業であるが、年間の利用実績が3件程度に留まっており、設置ニーズと運営コストの乖離が課題となっている。					
計画	・8年度末でニーズが認められない場合は、事業を休止する。			今後の予定	・8年度中に事業休止の最終判断を行う。 ・休止する場合については、ホームページ等を通じて関係者および市民へ周知する。	
				取組効果	8年度中に事業休止の最終判断を行うため、7年度を取組効果なし	

整理番号:58

プラン	NO21 社会福祉事業の見直し			進捗状況	取組状況	・既存の民間サービスの市場調査・研究を実施した。 ・行政が直接提供するサービスを終了しても代替手段が確保されていることを確認した。
企画書	緊急通報事業	進捗評価	完了(予定)			
担当課	長寿介護課					
課題	高齢者の在宅生活を支援する重要な事業であるが、近年、安価で多様な民間サービスが普及していることから、行政支援のあり方や公費負担の妥当性が課題となっている。					
計画	7年度末で新規申請の受付を終了する。			今後の予定	・令和8年1月から3月を集中周知期間とし、ホームページや広報紙等で周知する。 ・周知にあたっては、代替となる民間サービスの情報を併せて提供する。	
				取組効果	7年度末で新規申請受付終了により委託料等 657千円 削減	

整理番号:59

プラン	NO22 農林水産事業の見直し			進捗状況	取組状況	・8年度の新規実施地区に対し、管理枚数の取りまとめ依頼を行った。 ・併せて、制度見直し(単価改定)の内容についても事前説明を実施した。
企画書	田んぼダム推進事業	進捗評価	完了(予定)			
担当課	農業水産課					
課題	田んぼダムの推進により実施地区は順調に拡大しているが、それに伴い管理委託料の総額も増加しており、集中改革期間における財政負担の軽減と持続可能な制度設計が課題となっている。					
計画	・各地区単位で制度導入4年目からの委託料を見直す。(1,000円⇒500円)			今後の予定	・令和8年3月までに実施地区の代表者へ委託料の見直し内容を文書で周知する。 ・新体系への速やかな移行を図る。	
				取組効果	制度導入4年目以降の堰板管理委託料の見直しにより委託料等 1,731千円 削減	

整理番号:60

プラン	NO22 農林水産事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 各支部の決算内容を精査し、活動実態に合わせた負担金の適正化を実施した。 7年度に負担金の削減を検討し、8年度から年間目標額である60万円の削減を行う。
企画書	市農業支援センター負担金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	農業水産課					
課題	各町の支部が実施する活動に対し負担金を支出しているが、各支部の活動実態や決算状況を十分に把握できていないことが課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 決算状況等を踏まえ、8年度から負担金を5割程度削減する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各支部の決算書を厳格に精査し、過不足のない適切な算定を継続する。 見直し内容について、ホームページ等を通じて関係者および市民へ早期に周知する。 透明性の高い公金支出に努める。 	
					取組効果	8年度からの負担金適正化により農業支援センター負担金 615千円 削減

整理番号:61

プラン	NO23 ジオパーク推進事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を徹底的に精査し、予算の縮減を図った上で再認定審査を受審した。
企画書	ジオパーク再認定	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	経済振興課					
課題	四国西予ジオパークの再認定および推進活動を継続するにあたり、関連事業費が年々増加傾向にあり、活動の質を保ちつつ費用をいかに抑制するかが課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度に再認定を申請し、引き続きジオパークの推進を継続する。 11年度の更新に向けては、事業効果を検証し、事業継続の可否を検討する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年1月30日の再認定を受け、持続可能な推進体制の構築に努める。 再認定後の活動においても、常に事業効果の検証を行う。 次回の更新(令和11年度)に向けて事業継続の是非を含めた抜本的な検討を行う。 	
					取組効果	整理番号62に含む

整理番号:62

プラン	NO23 ジオパーク推進事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 政策推進課との協議により、成果を客観的に評価するための指標の修正を完了した。 予算集約に向けて、市直轄事業の整理とジオパーク推進協議会との協議を行った。 協議の結果、計画について合意を得た。
企画書	ジオパーク推進事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	経済振興課					
課題	ジオパーク推進のため多岐にわたる事業を展開してきたが、個別の事業がもたらす直接的な成果や費用対効果が不明瞭な点が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 8年度以降の予算を6年度対比30%以上削減し、予算縮減の中で事業展開する。 近隣観光地との連携など創意工夫により誘客強化を推進し、誘客・収益改善を公表する。 8年度から推進に関する予算をジオパーク推進協議会へ集約し、市の直轄事業を整理する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 近隣観光地との連携など、限られた予算内での工夫による誘客強化策を具体化する。 実施した事業の効果検証を行い、誘客数などについての公表を検討する。 透明性の高い事業運営を推進する。 	
					取組効果	8年度予算を6年度対比30%以上縮減することにより事業費 3,925千円 削減

整理番号:63

プラン	NO24 道路・橋梁事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年12月議会において、負担金徴収に係る条例を廃止する手続きを完了した。 8年度以降の新規路線要望における実施基準(緊急性・重要性等)の整理を行った。
企画書	道路・橋梁事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	建設課					
課題	道路・橋梁等のインフラ老朽化に伴う維持管理費の増大が懸念される中、新規路線への投資抑制や、土木建設事業に係る地元負担金のあり方について、財政の健全性と公平性の観点から方向性の整理が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規路線の要望基準を8年度から引き上げ、新規路線の要望を厳格化する。 新規路線を抑制し、10年度以降は、維持修繕(道路・橋梁)等のメンテナンスにシフトする。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で実施中。 新規整備を厳格に制限し、既存路線の長寿命化に集中する体制への移行を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 「新たな市道認定基準」を策定し、適正な路線の選別を徹底する。 ホームページ等を通じて市民への周知を行う。 	
				取組効果	-	

整理番号:64

プラン	NO25 都市計画事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度から10年度までの「第2期計画」を策定し、国へ事業採択を申請中である。 レクリエーション広場の整備内容の見直しについて、ワークショップを開催した。 住民報告及び了承を得るとともに、コンサルタントとの設計・工程調整を完了した。
企画書	野村地区都市再生整備計画事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	建設課					
課題	7年度で復興事業の完了予定であったが、物価高騰や週休2日制度の完全施行による経費率の上昇により、費用負担の集中が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 新たに第2期計画を策定し、10年度完了に延長することで事業量を平準化する。(1期計画:3~7年度、2期計画:8~10年度) レクリエーション広場の整備内容について見直しを行う。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で実施中。 社会情勢の変化に即した現実的な事業計画への再編を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション広場の一部整備内容を簡素化し、コスト抑制を図る。 住民ニーズに応える機能的な空間整備を推進する。 	
				取組効果	-	

整理番号:65

プラン	NO26 社会教育事業の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> モデル校での実施状況について学校側へのヒアリングを行った。 学校と地域の連携促進に限らず教職員の業務負担軽減にも効果的との成果を確認した。
企画書	地域学校協働活動推進員	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	まなび推進課					
課題	地域と学校が連携した教育活動を推進するため、モデル校3校で推進員を配置しているが、全市的な追加配置に向けた基準の策定や、それに伴う予算増への対応が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> モデル校での検証を経て適切な規模で導入とする。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で実施中。 一律の全校導入ではなく、効果検証を経た「適切な規模での導入」に向けて調整している。 財政負担をコントロールしつつ、教育環境の整備を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> モデル校3校の取組を評価・検証し、今後の適正な配置基準や運用のあり方を検討する。 地方負担の増大を避けるため、国の予算措置の充実について継続的な要望活動を行う。 	
				取組効果	-	

整理番号:66

プラン	NO26 社会教育事業の見直し			進捗状況	取組状況	・他自治体における受益者負担の導入事例や運用ルールの調査を実施した。
企画書	放課後子ども教室事業	進捗評価	調整中			
担当課	まなび推進課					
課題	子どもの放課後の居場所として重要な役割を果たしているが、今後の設置拡大に伴う予算の増加が見込まれる中、財政負担の抑制と持続可能な運営体制の構築が課題となっている。					
計画	・現行予算内にて受益者負担の仕組みを検討する。			今後の予定	・地域づくり活動センターごとの運営手法を整理し、統一的なガイドラインを検討する。 ・保護者への負担理解を得るための調整を行う。 ・段階的な新制度導入を図る。	
				取組効果	-	

整理番号:67

プラン	NO26 社会教育事業の見直し			進捗状況	取組状況	・集中支援期間に向けて、新補助制度の設計及び各校との協議・要綱策定を進めている。 ・PR活動のターゲット範囲を拡大し戦略的な情報発信を開始した。
企画書	高校魅力化事業	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	まなび推進課					
課題	宇和高校三瓶分校の閉校に伴い、市内高校は2校体制となったが、今後の生徒数減少の動向によってはさらなる再編のリスクがあり、学校の存続に向けた独自の魅力づくりと生徒確保が課題となっている。					
計画	・県振興計画を見据え、7年度から3年間の集中支援を行う。 宇和高校:総合学科4系列の特色を活かし、近隣市町からの生徒数確保に努める。 野村高校:畜産科の動物と触れ合える魅力を活かし、県外生徒の確保にも努める。			今後の予定	・各校への志願者・進学者の推移を注視し、状況に応じて事業規模の拡張を検討する。 ・ホームページやSNS等を活用し、高校魅力化に向けた取組の周知を徹底する。	
				取組効果	-	

整理番号:68

プラン	NO27 繰出金事業の適正化			進捗状況	取組状況	・7年度中の経営戦略改定に向けて、中長期的な収支及び自己資金の推計を実施した。 ・一般会計からの繰出金依存度を把握し、削減に向けたシミュレーションを完了した。
企画書	下水道事業会計繰出金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	上下水道課					
課題	公営企業会計は独立採算が原則であるが、現状、総務省の基準を超えた一般会計からの基準外繰出が行われており、一般会計の財政を圧迫している点が課題となっている。					
計画	・8年度から基準外繰出である経営基盤強化(人件費分)を30%程度削減する。			今後の予定	・下水道料金の改定を視野に、将来的な基準外繰出の削減について検討を継続する。	
				取組効果	8年度からの基準外繰出の調整により一般会計繰出金 6,550千円 削減	

整理番号:69

プラン	NO27 繰出金事業の適正化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・算定根拠を精査し、8年度からの繰出単価見直しを決定した。 ・各簡易水道組合に対し、見直し内容について文書通知を完了した。
企画書	上水道・簡易水道会計繰出金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	上下水道課					
課題	企業会計は独立採算制が原則の中、一般会計から消火栓維持管理負担金を繰り出しているが、現行の算定基準単価が実質的な維持管理費の実態と乖離しており、一般会計からの繰出金の適正化が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度から消火栓維持管理に係る繰出金を削減する。(1基あたり3,000円⇒1,000円。2,249基) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金改定の検討と並行し、経営基盤の強化を図る。 ・将来的な基準外繰出のさらなる削減について検討を継続する。 	
取組効果					8年度からの繰出金の調整により一般会計繰出金 4,495千円 削減	

整理番号:70

プラン	NO28 公債費の抑制			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年8月に全庁的なヒアリングを実施した。 ・12年度までの起債借入を伴う全事業を網羅的に把握した。 ・18年度までの長期的な収支見通しを策定した。 ・どの年度においても設定した借入上限枠を超過しない厳格な事業管理体制を構築した。
企画書	公債費の抑制	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	財政課					
課題	新市まちづくり計画に基づく施設整備及びインフラ施設の老朽化に伴う改修事業等において、交付税措置が有利な市債を活用してきたが、近年の起債事業の増加に起因した、公債費(返済)の急激な上昇が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・起債事業に通常枠・大型枠の区分を設けたうえで、上限管理を徹底する。(5年度～) ・本改革の根幹として、集中改革期間中の起債枠を更に圧縮し、公債費を抑制する。(25億円以下⇒20億円以下) ・集中改革期間後の市債残高をピーク時の約400億円から100億円以上引き下げる。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・借入枠の上限管理を堅持し、市の財政規模に見合った持続可能な投資水準を維持する。 ・市債残高の目標への進捗について、広報誌等を通じて市民へ透明性高く公開する。 	
取組効果					7年度当初市債残高:約379億円⇒8年度当初市債残高:約360億円	

整理番号:71

プラン	NO29 職員力を活用した業務改善			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの調理実習等について、保育園や学校との調整を完了し、了承を得た。 ・ブラッシング指導についても、内部調整を完了した。 ・各施設の要望に応じ、市栄養士を講師として派遣する調理実習等は、追加経費が発生しない内容を前提とした実施形態を各施設と最終確認した。
企画書	食育事業	進捗評価	完了(予定)			
担当課	健康づくり推進課					
課題	第2次食育推進計画に基づき、各世代へ向けた食育事業を展開しているが、限られた財源の中で、いかに経費を抑えつつ実効性の高いプログラムを継続・実施していくかが課題となっている					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした調理実習等は8年度から保育園・学校行事の中で実施する。 ・子どもを対象としたブラッシング指導は市専門職員で実施する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習等は、各施設からの要望に応じ、市栄養士を講師として派遣する。 	
取組効果					8年度からの職員力を活用した業務改善により報償費等 193千円 削減	

整理番号:72

プラン	NO29 職員力を活用した業務改善			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康調査の回収方法に二次元コードを導入した。 ・全体回収率41.0%、うちデジタル回収率59.8%を得た。 ・相談窓口の案内を即時通知することが可能となった。 ・若年層対策事業の実施回数見直し(年3回)について、養護部会への説明した。
企画書	精神保健事業	進捗評価	完了(予定)			進捗内容
担当課	健康づくり推進課				今後の予定	
課題	第2次自殺対策計画に基づく各種事業において、アンケートの封入や集計作業に多大な事務時間を要しており、限られた人員と予算の中での費用対効果の向上が課題となっている。					取組効果
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康調査のアンケート回収方法を二次元コードによる回答方法に変更する。 ・自殺対策強化事業【普及啓発・若年層対策】を年3回の実施とする。 					

整理番号:73

プラン	NO29 職員力を活用した業務改善			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で運営可能な「ことばクラス(体験・交流型イベント)」へ事業形態を刷新した。 ・市内の各事業所を直接訪問し、外国人就労者への参加呼びかけを強化している。
企画書	外国人生活支援業務	進捗評価	完了(予定)			進捗内容
担当課	経済振興課				今後の予定	
課題	外国人住民の日本語学習支援について、外部委託による教室運営を継続してきたが、限られた財源の中でより多くの外国人住民が参加しやすく、かつ持続可能な支援形態の検討が課題となっている。					取組効果
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度から廃止し、体験・交流型のイベント形式に変更する。 					

整理番号:74

プラン	NO30 イベント・行事等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6年度中に各医師会等への説明を行った。 ・事業継続のための隔年開催化について了承を得た。 ・7年度より、計画通り「2年に1回」の開催とする新運用を開始している。
企画書	おイネ賞事業	進捗評価	完了(予定)			進捗内容
担当課	政策推進課				今後の予定	
課題	医師確保や医学振興を目的とした重要な事業であるが、創設から13年が経過し、近年の参加者減少や医師確保を取り巻く環境の変化に合わせ、より効果的かつ持続可能な事業形態への見直しが課題となっている。					取組効果
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に1回の開催とする。(8年度⇒10年度) 					

整理番号:75

プラン	NO30 イベント・行事等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度予算にて、前年度比3割の事業費圧縮し、効率的な運営体制への再編を完了した。 ・ふるさと納税の活用など、新たな財源確保に向けたスキームの検討を開始した。
企画書	全国かまぼこ板の絵展覧会	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	経済振興課					
課題	全国で評価され、多くの受賞歴を持つ本展覧会は、応募者数及び来館者数が減少傾向にあり、開催事業費に対する財源確保の在り方が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費を3割圧縮する。 ・運営財源の収入確保に努める。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・文化継承を踏まえつつ、公費負担を抑えた持続可能な文化事業への転換を進めている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと納税」による寄付を案内するなど、直接的な支援を募る取組を実施する。 ・企業協賛やクラウドファンディングなど、収入確保に向けた方策を検討・実行する。 	
				取組効果	7年度対比3割の事業費圧縮により運営経費等 4,412千円 削減	

整理番号:76

プラン	NO30 イベント・行事等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度より、地域おこし協力隊が主導するイベントへと実施主体を移行した。
企画書	四国西予ジオパークキャンプ事業	進捗評価	完了(予定)			
担当課	まなび推進課					
課題	市内児童向けの3泊4日の体験学習事業について、多額の運営費用の発生に加え、長期間にわたり多数の職員が従事することによる業務負担の増大が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度から廃止する。 ・実施主体を地域団体に移行する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・市主導ではなく、地域のリソースを活かした持続可能な運営形態へと転換している。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体主導の体験学習プログラムとしての定着を図る。 	
				取組効果	7年度中にイベント実施主体を民間移行したことにより報償費等 638千円 削減	

整理番号:77

プラン	NO31 補助金の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度に「補助金見直しリスト」を作成した。 ・補助金の種類・性質に応じた明確な見直し基準を策定した。 ・8年度当初予算査定において、策定した基準に基づいた予算反映状況を精査した。
企画書	補助金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	財政課					
課題	公益上必要性がある特定の事業や活動の奨励・促進を図るため各種補助金を実施し、政策目的を効果的に実現するための重要な役割を担っているが、合併以降の十分な評価・検証が実施されず、固定化・長期化・慢性化していることが課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度中に補助金の種類・性質別の基準を設け見直しを実施し、8年度から適用する。 ・制度的補助は原則継続する。 ・事業費補助[ソフト]は優先度・重点施策を踏まえ、休止・廃止・減額・継続等を整理する。 ・事業費補助[イベント]は運営の在り方を踏まえ廃止・減額等を整理する。 ・団体運営補助[公共的・準公共的]は原則継続する。 ・団体運営補助[一般]は2割削減を基準とし整理する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。(休止46件、減額60件、廃止12件、再編等23件) ・優先度に応じた予算配分の再編を徹底している。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・「補助金見直しリスト」を行政経営戦略会議等で報告し、全庁的な合意形成を図る。 ・見直し後の効果を継続的に確認し、常に最適な補助が行われるサイクルを確立する。 	
				取組効果	種類・性質別の基準による見直しにより補助金 約120,000千円 削減	

整理番号:78

プラン	NO32 給付事業等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・支給要件への「所得制限」導入に向け、内部協議を開始した。 ・所得基準(市町村民税の課税状況等)を設定した場合の対象人数の予測等を実施した。
企画書	人工透析患者通院交通費給付費	進捗評価	調整中			
担当課	福祉課					
課題	人工透析患者の通院負担を軽減するための重要な助成制度であるが、将来的な社会保障費の増大を見据え、限られた財源の中でより公平性の高い仕組みへの再編が課題となっている。					
計画	・10年度を目途として支給要件に所得要件を追加する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者への丁寧な聞き取りを行う。 ・収集した情報を基に、当事者に寄り添いつつ、持続可能な制度改正を行う。 ・制度改正の趣旨説明を行い、合意形成に努める。 	
					取組効果	調整中のため取組効果なし

整理番号:79

プラン	NO32 給付事業等の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・12月議会において条例改正を上程したが、プラン内容と相違したため、撤回とした。 ・他市町の取組状況について、確認を行った。 ・他市町の状況や議員の意見を踏まえ、代替案の検討を行う。
企画書	在宅ねたきり老人等介護手当	進捗評価	調整中			
担当課	長寿介護課					
課題	在宅での重度介護世帯を支援する制度であるが、介護サービスの普及により利用者が減少している。今後は、時代に即した福祉の最適化を目指し、公平性の観点から制度の在り方を見直すことが課題である。					
計画	・8年度から給付事業を廃止する。利用者には一時金を支給する。			今後の予定	・令和8年中に修正案に基づいた条例の改正手続きを行う。	
					取組効果	調整中のため取組効果なし

整理番号:80

プラン	NO33 新たな財源確保の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度より「メルカリShops」を活用した売却体制を構築した。 ・実証段階として、旧学校備品(跳び箱等)や事務用品を販売した。
企画書	庁用備品(不用品)の売却	進捗評価	完了(予定)			
担当課	財政課					
課題	施設の供用廃止等に伴い生じる不用品について、庁内での再活用が困難な場合は公費を投入して廃棄処分しており、処分費用の軽減と資産の有効活用が課題となっている。					
計画	・7年度中にメルカリを活用した売却体制を構築する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・売却対象品目のさらなる選定と出品体制の強化を図る。 ・処分費用の削減と資産の有効活用を推進する。 	
					取組効果	—

整理番号:81

プラン	NO33 新たな財源確保の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページでの売却情報の公表を開始し、広く購入希望者の募集を行っている。 「官公庁オークション」への登録を完了し、全国的な売却ルートを整備済み。 令和7年12月議会にて旧西予市消防本部庁舎等跡地の処分等の手続きを完了した。
企画書	市有財産の売却	進捗評価	完了(予定)			進捗内容
担当課	財政課				今後の予定	
課題	公共利用の目的を終えた遊休資産(未利用の市有地・建物)について、詳細な現状把握や管理体制が不十分であり、適時・適切な売却が図れていない点が課題となっている。					取組効果
計画	・7年度中に官公庁オークション等を用いた売却ルートを整備する。					

整理番号:82

プラン	NO33 新たな財源確保の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 視察負担金の導入に向けた内部協議を実施した。 一部の特定分野だけでなく「全庁的な視察受入」を対象とする方針を決定した。 円滑な運用のための受付窓口の集約や、関係各課との事務フローの調整を行っている。
企画書	オフィス改革視察負担金	進捗評価	完了(予定)			進捗内容
担当課	デジタル推進課				今後の予定	
課題	本市の「オフィス改革」等の先進的な取組に対し、全国から多くの視察を受け入れているが、対応に係る資料印刷費や職員の人的コストを市が全額負担しており、持続的な受入体制確立のための費用徴収が課題となっている。					取組効果
計画	・8年度より負担金を徴収する。					

整理番号:83

プラン	NO33 新たな財源確保の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 7年度に「産業用地可能性調査」を実施した。 ターゲットとなる企業へのアプローチ(直接訪問・提案)を開始した。
企画書	企業誘致推進体制の強化策	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容
担当課	経済振興課				今後の予定	
課題	これまでは県や関係機関からの紹介に依存する「待ち」の姿勢が中心であり、自ら市内外の企業を訪問する積極的な営業活動や、誘致の前提となる産業用地の確保・整備の検討が不十分である点が課題となっている。					取組効果
計画	・7年度中に方針を定め、8年度から積極的な誘致活動を行う。					

整理番号:84

プラン	NO34 ふるさと納税の推進強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「返礼品のブラッシュアップ」や「特産品PR」、「寄附サイトの強化」等を徹底した。 ・12月時点で前年度を上回る約5億9千800万円(個人版)を達成した。 ・企業版ふるさと納税の営業活動や中間委託事業者との連携強化を実施した。
企画書	ふるさと納税の推進強化	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	経済振興課					
課題	億単位の増収が見込める極めて重要な自主財源であるが、近隣自治体との競争も激化しており、目標額の確実な達成と持続的な増収のためには、さらなる戦略的な推進体制の構築が不可欠となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度からの取組強化策(既存返礼品のブラッシュアップ、新規事業者・返礼品の発掘、一次製品の在庫確保)(中間委託事業者との連携強化、寄附サイトの強化・連携、広報・返礼品開発)(クラウドファンディング、関連企業等への積極的営業[企業版ふるさと納税含む]など) 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。(7年度成果見込:6億5千万円~7億円) ・一次製品の在庫確保や新規事業者の発掘を並行実施し寄附額の底上げを進めている。 ・ふるさと納税のPRを加速させるための新たな取組を進めている。(市特産品推進業務の委託、ふるさと納税推進室の創設) 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度は寄附目標額を「9億円」に引き上げ、戦略的に取り組む。 ・ふるさと納税型クラウドファンディングの活用により、具体的な地域課題解決と寄附促進を連動させる。 	
				取組効果	ふるさと納税目標額 7年度:7億円⇒8年度:9億円) ※約1億円 増加(経費半額除く)	

整理番号:85

プラン	NO34 ふるさと納税の推進強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度にふるさと納税PRを主眼に置いた新デザインの名刺を作成した。 ・運用方針の策定を行い、新名刺の運用を開始した。 ・全職員へ名刺台紙の配布を行い、PR推進体制の基盤を構築した。
企画書	職員用名刺	進捗評価	完了(予定)			
担当課	総務課、経済振興課					
課題	「ふるさと納税」の増収に向け、全庁一丸となったPR活動が求められている。しかし、現状では名刺のデザインが統一されておらず、市外への効果的なプロモーションや統一感のあるブランド発信が十分にできていない点が課題となっている。					
計画	・7年度中に職員用名刺を刷新し職員一丸となったPR推進体制を構築する。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・職員が市外関係者と接するあらゆる機会を市の魅力発信と寄附促進の接点とする。 ・全職員の営業意識の浸透を図っている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度の当初に向けて、庁内掲示板等で再周知を行う。 ・異動時期に合わせた新名刺への切り替えと積極的な利用を強力的に推進する。 	
				取組効果	—	

整理番号:86

プラン	NO35 債権整理の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導強化により、所管課主導による差し押さえ等の滞納処分が複数件実施された。 ・合同公売会の実施に向け、検索マニュアルや公売会手順を策定した。 ・徴収困難案件の弁護士委託に向けた仕様書素案を作成した。
企画書	債権整理の強化	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	税務課					
課題	税金等の強制徴収公債権についてはシステム導入や研修で成果が出ている一方、非強制徴収債権(各種貸付金等)において督促・催告が不十分なケースがあり、回収率の向上が喫緊の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・研修、指導等により滞納処分の知識向上、徴収意識を継続する。 ・定期的な債権状況報告会を開催し、進捗状況の全体共有と改善策の協議を行う。 ・官公庁オークションにおいて合同公売会を実施する。 ・徴収困難な案件については弁護士など専門家への委託を検討する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・債権管理委員会にて進捗状況の共有、債権管理計画の改訂を行っている。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度以降も継続的に実務研修を実施し、滞納処分の知識・技能・意識の向上を図る。 ・他市の先進事例(法的措置の実施等)を研究する。 ・公売手続の取りまとめを行う。 	
				取組効果	—	

整理番号:87

プラン	NO35 債権整理の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度より、6か月以上の滞納者に対し「明け渡し請求」を実施した。 ・現年分で6か月を超える滞納は1戸のみにまで減少した。 ・過年度滞納者に対しては「分納誓約書」の作成を義務付け、計画的な分納を徹底した。
企画書	市営住宅滞納整理	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	建設課					
課題	市営住宅家賃の滞納に対し、従来の督促状送付等では十分な効果が得られず、明け渡し請求や契約解除といった厳格な対応も停滞していたため、一部の入居者において滞納が常態化している点が大きな課題となっている。					
計画	・債権管理台帳の整備、明渡請求や契約の解除勧告等の適切な事務手続きを徹底する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅家賃の滞納整理を強化する。 ・新規滞納の発生抑制と、過年度未収金のさらなる圧縮に努める。 	
					取組効果	—

整理番号:88

プラン	NO35 債権整理の強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・現年度分について、5年度及び6年度は滞納ゼロを達成した。 ・7年度においても債権管理に努め適切な事務手続きを実施した。 ・過年度分については、住所調査と催告を実施した結果、7年度には新たに2名が完済に至るなど、着実に成果が表れている。
企画書	育英会奨学金滞納整理	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	教育総務課					
課題	滞納繰越額は減少傾向にあるものの、完済までに長期間を要する事案が残っており、回収の停滞が課題となっている。					
計画	・債権管理台帳を整備・更新する。 ・滞納者に対する催告・督促により適切な事務手続きを徹底する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・催告に応じない債務者に対しては、直接訪問による現状把握や納付指導を強化する。 ・現年度滞納ゼロを堅持しつつ、滞納整理の手法を蓄積し、未収金の圧縮を加速させる。 	
					取組効果	—

整理番号:89

プラン	NO36 基金の再編			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月議会において、一部基金の廃止・統合に係る条例改正手続きを完了した。 ・目的が共通する基金を公共施設整備基金及び地域振興基金へ集約する体制を整えた。
企画書	基金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	財政課					
課題	特定の目的ごとに設置された基金の中には、残高が少額で長期間運用が停滞しているものが多く、財政状況に応じた柔軟な資金活用や事務管理の効率化を妨げていることが課題となっている。					
計画	・施設整備系の土地開発基金は、公共施設整備基金に集約する。 ・ソフト系の各基金は、地域振興基金(財政課所管分)に集約する。 (宇和町地域古代ロマンの里構想基金、宇和福祉の里基金、田園ロマンの里づくり基金、中山間ふるさと・水と土保全基金、おイネ賞事業基金、ジオパーク推進基金)			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・各基金の所管課と連携のうえ、7年度中に残余現金を移行するための事務を進める。 ・財政課での一元管理により有効活用を図る。 	
					取組効果	—

整理番号:90

プラン	NO36 基金の再編			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 医療介護推進室と連携し、8年度予算において本基金を財源とする事業を選定した。 医療・介護分野の維持・振興に充当できるよう、過疎計画への事業反映を完了した。
企画書	過疎地域自立促進特別基金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	政策推進課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画の方向性を拡充し、取組が完了。 八幡浜地区施設事務組合への委託事業(一次救急休日・夜間診療所事業)にも活用する方針を決定した。
課題	過疎対策事業債を財源として積み立てた本基金について、現行の活用範囲に留まらず、次期計画の更新に合わせて、より効果的かつ計画的に市全体の課題解決へ充当していくための仕組みづくりが課題となっている。					
計画	・過疎地域自立促進特別基金の充当対象を拡充する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、医療介護推進室と連携し、地域医療確保を目的に当基金を積極活用し、一般財源の持ち出しを抑制する。 	
				取組効果	基金活用額(増加分) 26,044千円	

整理番号:91

プラン	NO36 基金の再編			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 8年度以降の具体的な活用事業の選定に向け、財政課と協議を実施した。 基金の設置目的に合致しつつ、一般財源を補完・代替できる事業の洗い出しを行った。
企画書	地域振興基金(政策推進課分)	進捗評価	調整中			
担当課	政策推進課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 今後の方向性について調整中。(予算編成の状況により随時検討) 特定の事業のみならず、より広範な地域活性化施策への活用の検討を進めている。
課題	旧合併特例事業債を財源として積み立てた本基金は、活用用途が限定的であるため、社会情勢の変化や多様な地域課題への弾力的な運用方法の検討が課題となっている。					
計画	・地域振興基金(政策推進課所管分)の充当対象を拡充する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 関係課と連携して有効な活用先を検討し、8年度以降の積極的な充当を図る。 	
				取組効果	8年度の追加運用の予定なしのため取組効果なし	

整理番号:92

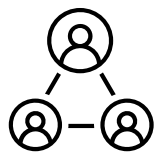
プラン	NO36 基金の再編			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 課長会を通じてその目的と活用方針を説明し、庁内掲示板を利用し情報提供を行った。 Kintoneを利用した事業内容の取りまとめフォームを作成した。
企画書	森林環境譲与税基金	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	林業課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの方向性で実施中。 Kintoneの活用により、部署を越えた迅速な情報共有と、事業確認を効率化している。
課題	森林環境譲与税を財源とする本基金について、森林環境整備や人材育成に重点を置き活用してきたが、木材利用の促進や木育関連事業など、総合的に森林の公益的機能の増進につながる幅広い施策への活用が課題になっている。					
計画	・森林環境譲与税基金は、活用可能な事業がないか全庁的な確認を行い、有効活用を図る。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> kintoneで集約した事業計画を精査する。 森林環境譲与税の趣旨に合致する事業への充当を進める。 	
				取組効果	基金活用額(増加分) 26,652千円	

整理番号:93

プラン	NO36 基金の再編			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性を高めるため、計画内容を修正した。 (小学校入学時の木製品贈呈から保育施設や児童館等への木製用具の寄贈へ変更した)
企画書	森林環境譲与税基金(子育て応援事業)	進捗評価	完了(予定)			
担当課	子育て支援課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の方向性を変更し、取組が完了。 ・未就学児を含む幅広い世代の子どもたちが、木の温もりに触れられる機会を創出するよう進める。
課題	多様な子育て支援事業が展開される中で、類似事業との重複整理が必要となっている。また、森林環境譲与税の趣旨に沿いつつ、より多くの子どもたちが恩恵を享受でき、かつ効果的な木育の推進体制を確立することが課題となっている。					
計画	・森林環境譲与税を活用した子育て応援事業を確立する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈する木製遊具の発注・設置に向けた事務手続きを進める。 ・地場産材の活用を優先し、地域経済への波及効果も考慮した運用を図る。 	
					取組効果	整理番号92に含む

整理番号:94

プラン	NO36 基金の再編			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「より多くの児童生徒が等しく恩恵を享受できること」を重視した選定基準を策定した。 ・教育振興に資する効果の高い6事業を厳選し、8年度当初予算要求を完了した。
企画書	子ども教育振興基金	進捗評価	完了(予定)			
担当課	教育総務課				進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で取組が完了。 ・限られた財源を最大多数の児童生徒の教育環境向上へ繋げる体制を整えている。
課題	子ども教育振興基金の活用において、従来は申請上限額を設けずに審査・充当していたため、事業間のバランスや児童生徒に対する公平性の確保が課題となっていた。					
計画	・子ども教育振興基金の充当上限額を設定し教育委員会の事業に優先的に配分する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・選定した事業の実施後、事業報告を基に教育効果の検証を行う。 ・次年度以降の配分計画にフィードバックさせる。 ・基金の持続可能かつ有効な運用を継続する。 	
					取組効果	基金活用額(増加分) 114千円



持続可能な行政運営に向けた 組織・業務改革

対象数	完了	実施中	調整中ほか
20 項目	5 項目	12 項目	3 項目

整理番号:95

プラン	NO37 人事マネジメントの強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・技術職(初級・中級)の専門試験を廃止し、「職務能力試験」へ転換した。 ・利便性向上のため申込方法をWEBフォームへ一新した。 ・市内高校を直接訪問し、地元出身者への直接的なPRを実施した。
企画書	職員採用試験	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	総務課					
課題	全国的な労働力不足を背景に、本市における人材確保も極めて深刻な状況にあり、従来の試験区分や広報手法のままでは、将来にわたって安定的な行政サービスを維持するための人材を確保できないリスクが課題となっている。					
計画	・職員採用試験を見直す。(Web申込、地元高校との連携等)			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員との意見交換による魅力発信の強化を行う。 ・二十歳の集い、大学での個別説明会等を通じて、戦略的な採用活動を展開する。 	
					取組効果	—

整理番号:96

プラン	NO37 人事マネジメントの強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年5名の削減を目標として定員管理計画の厳格な進捗管理を実施した。(普通退職の増加により、令和7年4月1日時点で前年度比一般職員数10名程度減員見込)
企画書	定員管理計画の進捗管理	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	総務課					
課題	本市の地理的特性から、同規模自治体と比較して職員数が多い傾向にある。加えて、近年の人事院勧告に伴う給与水準の引き上げにより、人件費が大幅に増加しており、財政を圧迫している点が喫緊の課題となっている。					
計画	・定員管理計画の進捗管理方法を徹底し10年間で50人削減する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の人口規模や行政ニーズに合わせ、部長職等のポスト数についても検討する。 ・組織全体のピラミッド構造を最適化する。 	
					取組効果	7年度当初予算要求積算人数521人⇒8年度当初予算要求積算人数:511人 ※参考

整理番号:97

プラン	NO37 人事マネジメントの強化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定員管理計画及び直近の離職動向に基づき、制度再開の必要性について協議を重ねた。
企画書	早期退職者勸奨制度の再開	進捗評価	見直し			
担当課	総務課					
課題	定年延長制度の導入に伴う職員の年齢構成の歪みを解消し、組織の若返りと定員管理の円滑化を図るため、平成24年度まで実施していた「早期退職者勸奨制度」の再開の是非が課題となっていた。					
計画	・8年度から早期退職者勸奨制度の再開を検討する。(職員年齢構成の適正化)			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・退職手当の加算等の追加コストを抑制しつつ、自然退職と新規採用のバランスを調整することで、健全な年齢構成の構築と人件費の抑制を継続する。 	
					取組効果	—

整理番号:98

プラン	NO38 職員配置基準の適正化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実績および将来予測に基づく適正人数の再算定を実施した。 ・現職の認定調査員に対し、今後の採用方針等について事前説明を行い、理解を得た。
企画書	介護認定調査員	進捗評価	完了(予定)			
担当課	長寿介護課					
課題	要介護認定申請件数の減少に伴い、現在の介護認定調査員の配置数と実際の業務量に乖離が生じつつある。市民への迅速な認定事務を維持しつつ、業務ニーズに合致した適正な職員配置が課題となっている。					
計画	・介護認定調査員の採用人数を業務ニーズに応じた採用人数へ整理する。			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度より、フルタイム調査員を8名から7名へ1名減員する。 ・調査員1人当たりの調査件数を調整・平準化する。 ・認定遅延を防ぐとともに、更なる事務の効率化を図る。 	
				取組効果	介護認定調査員数の調整により人件費 2,546千円 削減	

整理番号:99

プラン	NO38 職員配置基準の適正化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月議会において、条例定数の改正を完了した。 ・車両や詰所の削減についても具体的な対象箇所の選定と処分方法を確定させた。
企画書	消防団再編	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	消防総務課					
課題	急激な人口減少と団員の高齢化により、現行の消防団体制を維持することが困難な地区が増加している。将来にわたって地域防災力を担保するため、実態に即した定数の見直しや施設の集約といった組織の抜本的再編が喫緊の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団再編計画に沿って団員数を適正化する。(定数:1,752人 ⇒ 6年度:1,597人 ⇒ 16年度:1,292人) ・団車両についても詰所再編に併せて可能な限り集約する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・8年度より、条例定数の改正を役員改選時期に合わせ、2年毎に行う。 ・8年度より、詰所4カ所を削減(譲渡1、貸付1、解体1、解体予定1)する。 ・8年度より、車両3台を削減(オークション2、移管1)する。 	
				取組効果	消防団員数の調整により報償費等 8,112千円 削減	

整理番号:100

プラン	NO38 職員配置基準の適正化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位での配置など配置基準を明確化し、7年度から適用を開始した。 ・市内の就学前施設及び小中学校へ周知を行い、公平な支援体制の基盤を構築した。
企画書	学校生活支援員	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	学校教育課					
課題	特別な配慮を要する児童生徒の増加に伴い、支援員の配置希望が急増している。現状のままでは、限られた人数の中で、対応が困難になる恐れがあるため、客観的かつ明確な配置基準に基づく適正な運用が課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活支援員の配置基準を明確化する。(学校単位への配置、配置基準の明確化) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会において配置基準の共通認識を深化させ、運用方法の向上を図る。 ・的確な支援の質を維持しつつ、長期的な人員配置の安定化を図る。 	
				取組効果	学校生活支援員の調整により人件費 5,471千円 削減	

整理番号:101

プラン	NO39 人件費の抑制			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 各所属長へ毎月の時間外勤務執行状況を報告し、徹底した業務管理を実施した。 残業場所の集約やノー残業デイ、各課での応援体制構築を実施した。 組織全体で時間外勤務を抑制する意識を醸成した。
企画書	時間外勤務手当50%削減	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	総務課、デジタル推進課					
課題	長時間の時間外勤務は、行政コストを増大させるだけでなく、職員の生産性・健康・ワークライフバランスを阻害する。全職員がデジタル技術等を活用し、日常業務をいかに効率化・最適化できるかという業務手法の抜本的な見直しが喫緊の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務手当50%削減する。(業務のデジタル化による生産性の向上、残業場所の1階集約、毎週水曜日のノー残業デイの取組実施) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き徹底した業務マネジメントと事務事業の見直しを継続する。 時間外勤務手当50%削減(目標値の堅持)を目指す。 	
取組効果					人件費 4,001千円 削減(7年度当初対比) ※参考:6年度当初対比44,497千円削減	

整理番号:102

プラン	NO40 働き方改革による多様な勤務形態の推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク実施に必要なハードウェア(端末・通信環境等)の整備を完了した。 関連条例・規則の改正、実施要綱の制定を完了した。 運用に向けた法的・システムの基盤を構築した。 令和8年1月から全職員を対象とした試験運用を実施した。
企画書	テレワーク	進捗評価	完了(予定)			
担当課	総務課、デジタル推進課					
課題	本庁集約に伴う長距離通勤職員の増加や、多様なライフスタイルへの対応が喫緊の課題となっている。場所にとられない新しい働き方を実現するため、情報セキュリティの確保と適切な勤怠管理を両立させた制度設計が必要となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度中にガイドライン等のルール整備を行う。 テレワーク及びサテライト勤務に向け、勤怠管理システム等の整備を行う。 7年度中に一部試行を実施し検証を踏まえたうえで、8年度からテレワークを導入する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 試験運用を通じ、操作習熟と課題抽出を行う。 令和8年4月から本格運用を開始し、柔軟な勤務形態による業務効率化を推進する。 	
取組効果					-	

整理番号:103

プラン	NO40 働き方改革による多様な勤務形態の推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 週休3日制の導入に向け、関連条例及び規則の改正を完了した。 運用の指針となる実施要綱の策定を行い、制度導入の法的・事務的根拠を確立した。 令和8年1月から全職員を対象とした試験運用を開始した。
企画書	選択的週休3日制	進捗評価	完了(予定)			
担当課	総務課					
課題	育児・介護といった多様な事情を抱える職員が、その能力を最大限に発揮し続けられる環境づくりが急務となっている。週休3日制という選択肢の導入にあたり、公務の運営に支障をきたさないためのルール整備や、生産性の維持・向上が大きな課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度中にガイドライン等のルール整備を行う。 8年度からフレックスタイムを活用した週休3日制を導入する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 業務等への影響、課題の抽出を行う。 令和8年4月から本格運用を開始し、ワーク・ライフ・バランスの向上を図る。 	
取組効果					-	

整理番号:104

プラン	NO41 業務体制及び業務手法の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請環境の整備や、待ち時間短縮のための「事前予約制」を導入した。 ・行政手続きがスムーズに進むデジタル環境を構築した。 ・令和8年2月より、窓口職員及び来庁者を対象に実態把握に関するアンケートを実施した。
企画書	窓口業務改革	進捗評価	調整中			
担当課	総務課、デジタル推進課					
課題	<p>現行の開庁時間(8:30~17:15)では、窓口対応に追われ、複雑化する相談業務への対策や、市民サービス向上に向けた業務改善の時間を十分に確保できていない。また、閉庁後の事務処理が常態的な時間外勤務の一因となっている。</p>					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度から窓口業務の電子化等を進め、市民サービスの充実を図る。(オンライン申請・事前予約制の導入など) 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果等をもとに、窓口開庁時間の変更を検討する。 ・閉庁前後の時間を集中的な事務処理・日次処理・業務改善にあてる体制を確立する。 	
					取組効果	—

整理番号:105

プラン	NO41 業務体制及び業務手法の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和9年1月の廃止に向け、市民への影響を最小限に抑えるための周知方法について、関係部署である市民課と具体的な検討を行った。 ・令和8年1月送付分の通知書に次年度から廃止する旨を明記した。
企画書	口座振替通知書の廃止	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	税務課					
課題	<p>口座振替済通知書については、通帳記帳等による確認手段が広く定着しており、活用実績は近年限定的となっているが、通知書送付に伴う郵送費・印刷費に加え、発送準備に係る事務負担が生じており、これらの費用や業務量の削減が課題となっている。</p>					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・令和9年1月の口座振替通知書を廃止する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度11月広報にて廃止の旨を周知する。 ・1年間の猶予期間をもって市民への周知を徹底する。 	
					取組効果	8年度中に口座振替済通知書の廃止により印刷製本費等 1,733千円 削減

整理番号:106

プラン	NO41 業務体制及び業務手法の見直し			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを抜本的に再整理し、説明会を開催した。 ・職員の疑問点を集約したQ&Aを作成し、実務上の迷いを払拭した。 ・kintoneを活用した新会計事務アプリの構築を完了した。 ・8年度の本格運用に向けた最終的な周知・準備段階にある。
企画書	会計事務の簡素化	進捗評価	完了(予定)			
担当課	会計課					
課題	<p>会計事務において、過去のマニュアルが複数混在し、手続きが形骸化・複雑化している。伝票起票等の作業負担が大きく、人的ミスを誘発しやすい構造となっているため、実務に即した簡素化と効率的なルールの再構築が課題となっている。</p>					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度から会計事務マニュアルを再整理のうえ簡素化を図る。令和8年4月から運用する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月より再整理した新マニュアル及びkintoneアプリによる運用を開始する。 ・運用開始後のフィードバックを継続的に収集し、更なる事務負担の軽減を図る。 	
					取組効果	事務マニュアルの簡素化により口座振替手数料等 1,762千円 削減

整理番号:107

プラン	NO42 DX技術を活用した業務効率化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム導入による時間取組効果や、生産性向上を定量化するための「共通算定式(評価指標)」について、庁内での協議・検討を開始した。
企画書	デジタル化の検証・分析	進捗評価	調整中			
担当課	デジタル推進課					
課題	<p>これまで多角的に業務のDX化を推進してきたが、導入したシステムやアプリが、実際にどの程度の事務削減や費用抑制に寄与したかという客観的な効果検証・分析が不十分であり、投資の最適化が課題となっている。</p>					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度中に検証・分析を公表し、分析結果に基づく取り組み強化を実施する。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム導入の効果、生産性の算定式を検討する。 ・有効性が高い取組の強化及び有効性が低い取組の規模縮小・撤退を進める。 	
					取組効果	—

整理番号:108

プラン	NO42 DX技術を活用した業務効率化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や職員の利便性を高めるWebフォーム化を強力に推進した。(要望263件に対し、現在15件の対応が完了・35件に着手中) ・課題解決研修や管理職向け研修等、改善意識の啓発を行い、各課の業務をkintoneでアプリ化する取組を加速させた。(構築率は昨年度の35%から58%へと向上)
企画書	業務改善効果の見える化	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	デジタル推進課					
課題	<p>行政手続きのデジタル化に必要な環境は整いつつあるものの、全庁横断的な推進体制や、旧来の業務手法からの意識改革が依然として不十分であり、デジタル化をさらに加速させる体制の構築が課題となっている。</p>					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度中にKintoneアプリ化可能業務を調査し、8年度末までにアプリ化50%を達成する。 ・7年度中に生成AIを活用した業務の省力化・合理化による業務効率の向上を進める。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な改善意識の啓発と、kintoneによる業務アプリ化の更なる推進を図る。 ・生成AIの活用による文書作成や情報集約の省力化を図る。 ・デジタル化の進展を具体的な労働時間の削減へと繋げ、その成果を見える化していく。 	
					取組効果	—

整理番号:109

プラン	NO42 DX技術を活用した業務効率化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの電子化(Web回答)を希望する部署への技術的支援を実施した。 ・グループウェア(ガルーン)を活用し、調査の信頼性を担保するために必要な「統計的サンプル数」を自動算出できる数式を全職員に共有し、精度の高い調査を促した。
企画書	アンケート回答方式	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	政策推進課					
課題	<p>各課で実施される市民アンケートの多くが依然として紙媒体主体であり、多額の印刷費・郵送費がかかるだけでなく、集計作業等が職員の大きな負担となっている。回答率を維持しつつ、全庁的なアンケート手法のデジタルシフトと効率化が課題となっている。</p>					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度中に市民アンケートのデジタル化検証を行い、段階的に電子化の取組を進める。 			今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ教室との連携や、行動心理を考慮したアンケート設計により、市民がストレスなくWeb回答へシフトできるようにすることで、「早く・安く」市民の声を施策に反映できる運営を目指す。 	
					取組効果	—

整理番号:110

プラン	NO42 DX技術を活用した業務効率化			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年11月より「介護認定審査会支援システム」を導入した。 ・同年12月の審査会から運用を開始した。 ・資料の一括データ化とシステム上での閲覧・審査が可能な体制を構築した。
企画書	介護認定審査会業務	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	長寿介護課					
課題	介護認定審査会で使用する資料について、現在は印刷・製本・配送の全工程がアナログ対応となっており、事務局の負担と多額の消耗品コストが発生している。情報の秘匿性を確保しつつ、デジタル化による審査業務の迅速化と効率化が喫緊の課題となっている。					
計画	・7年度から介護認定審査会支援システムを導入し、審査業務の簡略化を図る。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・委員のIT習熟度に配慮し、当面は紙媒体との併用とする。(システムによる資料配布の即時性や検索性の向上は既に実証済み) 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・システム利用可能な委員を増やすための個別支援や協力依頼を強化する。 ・運用が安定した段階で、紙資料を完全廃止とする。 ・配送費用および事務負担の削減を目指す。 	
				取組効果	—	

整理番号:111

プラン	NO43 契約事務デジタル化の推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・電子契約システムの導入契約を完了した(令和8年1月運用開始)。 ・円滑な導入に向けて、具体的な事務手順の策定及び電子署名等に対応するための関係例規(規則・規定)の改正作業を実施中である。
企画書	契約事務デジタル化の推進	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	財政課					
課題	現在、一部の契約事務は電子化されているものの、契約書本体の作成・締結は依然として紙媒体が主体である。これに伴う製本、押印、郵送、保管等の事務負担が市・事業者双方で膨大となっており、業務の迅速化とコスト削減が喫緊の課題となっている。					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7年度から財政課契約監理室の契約事務の電子化を実施する。 ・電子化を実施した効果を分析し、8年度から他課の契約事務の電子化を実施する。 			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・8年度に財政課契約監理室において先行導入し、実務上の課題抽出と効果分析を行う。デジタル化による「契約締結までの期間短縮」と「事務工数削減」の可視化を進める。 	
				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・先行導入の結果を踏まえ、マニュアル等を整備する。 ・9年度から全庁的な電子契約体制へ拡大する。 ・契約から支払いまでの一連の工程の完全デジタル化を目指す。 	
				取組効果	—	

整理番号:112

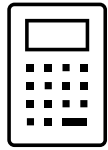
プラン	NO44 デジタル化による情報発信の推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりの広報せいよへの集約について、議会との合意形成を完了した。 ・令和8年1月中に詳細な紙面構成を確定させた。 ・「議会だより12月号」にて、次号より「広報せいよ」へ統合する旨を市民へ周知した。
企画書	広報「せいよ」	進捗評価	順調(実施中)			
担当課	政策推進課					
課題	情報収集手段が多様化する中、広報紙のあり方も検討が必要となっている。広報せいよと議会だよりが別々に発行されている現状を見直すとともに、ページ数の最適化や電子配信化を通じた、より効果的・効率的な情報発信体制の構築が課題となっている。					
計画	・広報「せいよ」を8年度から議会だよりを集約し、電子配信化に向けた協議を進める。			進捗内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの方向性で実施中。 ・8年度からの統合に向け、紙面構成等の最終調整を進めている。 	
				今後の予定	・8年度中に今後の電子配信化に向けた協議を進める。	
				取組効果	「議会だより」の広報「せいよ」集約により印刷製本費 922千円 削減	

整理番号:113

プラン	NO44 デジタル化による情報発信の推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 一括配信システムを7年度中に構築することを決定した。 一部の特定用途向け通知ツールを令和7年度末で終了した。 より汎用性の高い「みんなの防災アプリ」等へ移行する整理を行った。
企画書	防災情報ツール	進捗評価	完了(予定)			進捗内容
担当課	危機管理課				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に迷わず迅速な情報共有が行えるよう、配信手順の簡素化を推進する。 重点支援地方交付金の活用等により登録勧奨を行い、情報伝達網の強化に努める。
課題	情報伝達手段の多重化に伴い、媒体ごとの入力事務が煩雑化しており、迅速な情報発信体制の維持が課題となっている。市民のデバイス利用環境の変化に合わせ、より普及率の高いツールへの集約や、維持管理コストの最適化を図る必要がある。				取組効果	「みんなの防災アプリ」への移行により使用料 660千円 削減
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度末でコスモキャストでの防災情報の通知を廃止する。以降はアプリ等を活用する。 防災情報を各媒体へ一斉送信できるように一斉情報配信システムを構築する。 					

整理番号:114

プラン	NO45 公金キャッシュレス決済の推進			進捗状況	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 収納システムの構築に向けた仕様を確定した。(ベンダーとの契約締結済み) 納付書の共通レイアウト化およびeL-QRの印字に向け、業務担当者との協議を行った。
企画書	公金キャッシュレス決済の推進	進捗評価	順調(実施中)			進捗内容
担当課	会計課				今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年9月より、公金キャッシュレス決済の運用を本格開始する。 職員研修会を開催し、窓口等で説明できる職員を育成する。 納入通知書を交付する際は、キャッシュレス決済の手順等を掲載したチラシを添付する。
課題	社会全体でキャッシュレス決済が普及する中、公金納付における対応の遅れが住民の利便性を損なう恐れがある。納付場所及び窓口時間による限定や現金取扱の手間を解消し、多様な生活環境に合わせた柔軟な決済環境の整備が喫緊の課題となっている。				取組効果	—
計画	<ul style="list-style-type: none"> 7年度中に収納システム等を構築し費用対効果を検証する。 令和8年7月までに運用ルールを作成する。 令和8年8月中に職員研修会を開催し、窓口等で説明できる職員を育成する。 令和8年9月より公金キャッシュレス決済を導入する。 キャッシュレス決済の普及に向け、納入通知書を交付する際は、キャッシュレス決済の手順等を掲載したチラシを添付する。 					



取組効果額(概算値)

令和7年度当初予算対比

プラン実施による削減見込額及び歳入増加等の集計

財政危機脱却プランにおける 取組効果一覧(概算)

単位:億円

項目		①一般財源削減	②一般財源削減 (基金充当分)	③歳入増加	合計
基本方針1	公共施設マネジメント	0.6	0	0.1	0.7
基本方針2	財政改革	2.1	0.5	1.0	3.6
基本方針3	組織・業務改革	0.3	0	0	0.3
合計		3.0	0.5	1.1	4.6

※令和7年度当初予算対比による概算数値です。